

下伊那赤十字病院年報

2024 年度（令和 6 年度）

下伊那赤十字病院

令和6年度下伊那赤十字病院年報巻頭言

病院長 白子隆志

様々な事情で平成19年度から令和5年度まで下伊那赤十字病院の年報が発行されていませんでした。平成18年度の年報を見ると「平成17年度には日本医療機能評価機構認定病院」「ICU5床、亜急性期病床10床に増床」「人工透析11床から16床に増床」など病院が次々に拡張されていった時代であったことが見受けられます。平成後期から社会医療費の増加抑制、令和期になって少子高齢化・人口減少とコロナ感染症による受診控えなどによって医業収益が減っていることを考えると、この20年で日本の社会の大変革が起きていることがよくわかります。年報を含め「記録」というのは、日々の業務・診療・災害時においても非常に大切になります。これは、単に記憶しておくだけではなく、文字として記録することによって「己を知り分析し改善する」まさにPDCAサイクルの基本ですし、その病院のアクティビティの評価となり対外的なアピールにつながります。約18年ぶりに下伊那赤十字病院の年報が発行されることは大変喜ばしいことです。

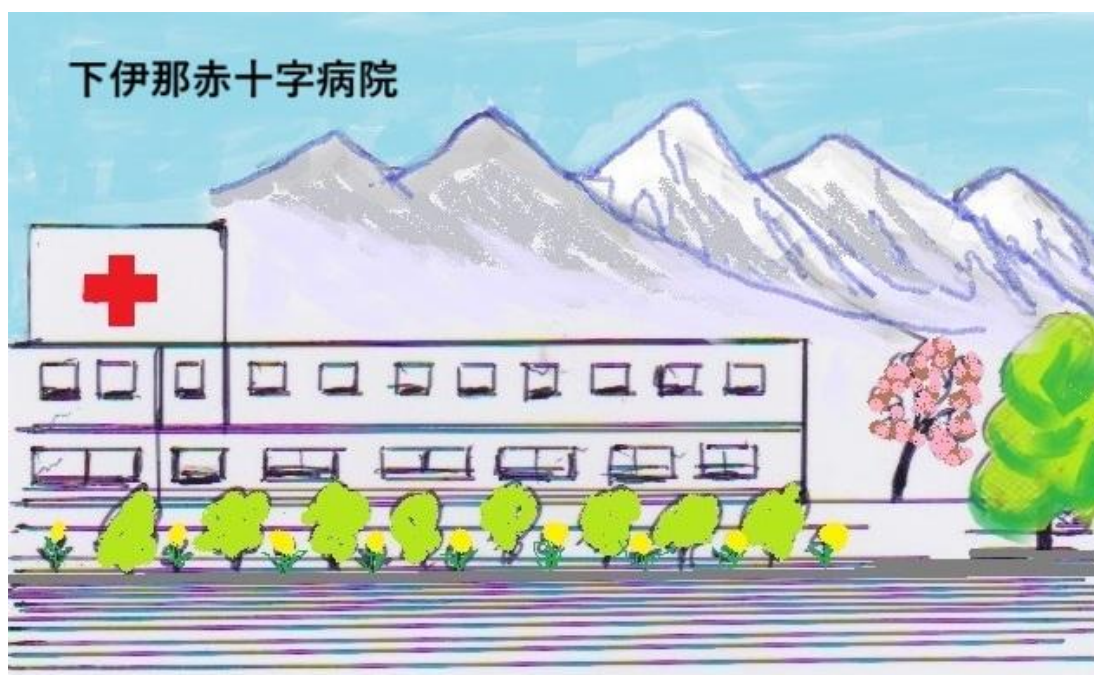
世界中を巻き込んだCovid19は徐々に収まりを見せてきていますが、「令和」という日本の新時代の始まりがその対応に追われていた5年間だったと思います。その間、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるパレスチナガザ地区への侵攻などとても21世紀とは思えない人道危機が起こり、多くの尊い命が毎日失われています。

日本では、令和6年元旦に能登半島地震が起こり改めて災害大国であることを実感しましたが、さらに9月に能登半島で洪水が襲うという自然の非情さを目の当たりにしました。当院からも救護班や病棟、介護支援などのスタッフを派遣し、日本赤十字社は全国の救護班を動員し支援にあたってきました。幸い長野県、とりわけ南信地域には大きな災害はここ数年間起きておりませんが、必ず来ると言われている南海トラフ地震に対しての備えは急務であり、実践に即したマニュアル作成と訓練を令和6年度から強力に推し進めています。

令和6年度には多くの職員のご苦勞と努力のおかげで念願の電子カルテが導入され、当院もやっと「今どきの」病院の仲間入りができました。電子媒体による記録が我々の

日常になり（半強制的に）、なんとなく日々の医療と馴染まない味気ない部分もありますが、デジタル化によって効率化され便利になったことも増えており我々自身がこの変化について行かなくてはなりません。この地域で医療活動する我々にとって、将来的に持続可能な病院を作り上げ社会的使命を遂行したいと思います。

この時代に生きた我々の記録を明るい将来のために残したいと思います。



下伊那赤十字病院 理念・基本方針

(理念) Philosophy

わたしたちは、医の倫理と介護の原則及び赤十字精神に基づき、心のかよう安全で

良質な医療・介護を実践します

(基本方針) Policy

1. 患者・利用者中心の医療・介護を提供します。
2. 災害救護活動に積極的に取り組みます。
3. 医療・介護・在宅をシームレスにつなぎ、地域包括ケアシステムに貢献します。
4. 教育・研修・研究を推進し、人間性豊かな人材を育て、医療・介護水準の向上に努めます。
5. 働きやすい環境・誇りある職場を作ります。
6. 健全経営を持続し、自院が提供する事業を通じて社会に貢献します。

(令和6年4月1日 改訂)

【患者さんの権利】

1. 人としての尊厳が保たれた最善の医療を受けることができます。
2. 病気の内容、治療方法、今後の見通しなどについて十分な説明を受け、自らの意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否することができます。
3. 患者さんが受けたい診療内容を病院や医師に伝えることができます。また、何らかの理由で自分の意思を表示できない場合には、ご家族の方や適切な代理人を指定して判断を依頼することができます。なお、依頼した人の方針を拒否することもできます。
4. ご自身の病気の診断や治療について、他の医師や病院を自由に選択し意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
5. 所定の手続きを経て、ご自分の診療記録の開示を求めることができます。
6. 当院は、患者さんに関する情報を承諾なしに第三者に知らせることはありません。
7. 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、自らの意思に基づき決めることができます。
8. 診療内容や入院中の生活において問題や不満がある場合には、医療者にそのことを伝えることができます。このことにより、患者さんの診療に関してなんら不利益を被ることはありません。

【患者さんの責務】

1. 患者さんご自身の病気について、病状、経過、服用している薬など、正確にお伝えください。
2. 検査や治療の内容を十分に理解し、合意のうえでお受けください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の方々の治療や病院職員による医療提供に支障が生ずる行為をしないでください。
4. 医療者に対して、暴力的な振る舞いや言動はしないでください。
5. 入院中は、病院の規則を守ってください。

年報目次

管理・運営編	1
沿革	3
病院概要	5
1年間のあゆみ	8
建物平面図	13
組織図	14
職員名簿（令和6年4月1日）	15
委員会	16
統計編	51
患者統計	53
疾病大分類別・診療科別・病名数	54
損益計算書	59
労働災害事故状況	60
業務編	61

学術実績 97

災害救護 107

管理・運営編

沿革

昭和 24 年 9 月	下伊那赤十字診療所として鼎村（飯田市）に設立
昭和 26 年 9 月	病床数 20 床の病院として発足
昭和 27 年 2 月	病床 40 床に増床
昭和 28 年 3 月	病棟 1 棟を建築 病床 63 床に増床
昭和 29 年 11 月	下伊那町村会および鼎町の後援により本館を建築
昭和 30 年 3 月	病床数 108 床に増床
昭和 41 年 3 月	産婦人科病棟新築
昭和 44 年 2 月	病床数 128 床に増床
昭和 45 年 3 月	第二病棟増築
昭和 49 年 2 月	松川町から病院敷地を寄贈により取得
昭和 50 年 5 月	松川町（現在地）に新築移転 診療開始（病床数 128 床）
昭和 55 年 4 月	リハビリテーション科 診療開始
昭和 59 年 4 月	小児科 診療開始
平成 5 年 7 月	新館増築 地下 1 階、地上 2 階
平成 5 年 12 月	人工透析 開始
平成 11 年 4 月	訪問看護ステーション開設
平成 12 年 4 月	療養型病床開設 134 床に増床（一般 104 床、療養 30 床）
平成 12 年 7 月	眼科、耳鼻咽喉科の開設
平成 12 年 10 月	院外処方へ前面移行
平成 18 年 11 月	新館病棟地下に透析室を移設 16 床に増床
平成 20 年 4 月	許可病床数を 112 床に変更（一般 66 床、療養 46 床）
平成 21 年 4 月	防災・健診センターの整備
平成 26 年 3 月	透析室を 17 床に増床

平成 27 年 1 月	地域包括ケア病床 8 床を一般病棟に設置
平成 28 年 2 月	地域包括ケア病床を 16 床に増床
令和 3 年 7 月	地域包括ケア病床を 34 床に増床
令和 3 年 10 月	介護療養病床を介護医療院に転換（定員 34 名） 許可病床数を 72 床に変更（一般 66 床、療養 6 床）
令和 5 年 4 月	精神科・心療内科 標榜
令和 6 年 4 月	許可病床数を 62 床に変更（一般 56 床、療養 6 床） 肛門外科 取り下げ
令和 6 年 9 月	電子カルテ 導入

病院概要

1 所在地

長野県下伊那郡松川町元大島 3159-1

2 診療科目（標榜科）

内科 心療内科 精神科 小児科 外科 整形外科 産婦人科 眼科
耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 皮膚科 泌尿器科
麻酔科 消化器外科

3 許可病床数

62 床

（内訳）一般 56 床（急性期病床 22 床、地域包括ケア病床 34 床）、療養 6 床

4 各種指定

救急告示指定機関、病院群輪番制、労災指定医療機関、優生保護法指定機関
結核予防法指定機関、健康保険法指定機関、国民健康保険法指定医療機関
原爆被爆者一般疾病医療機関、日本神経学会教育関連施設、協力型臨床研修病院
生活保護法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留
邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律に基づく指定医療機関

5 施設基準

（1）基本診療料

情報通信機器を用いた診療に係る基準・療養病棟療養環境改善加算 1・機能強化
加算・医療安全対策加算 2・医療DX推進体制整備加算 5・医療安全対策地域連
携加算 2・一般病棟入院基本料・感染対策向上加算 2（急性期一般入院料 4）・
後発医薬品使用体制加算 1・療養病棟入院基本料・データ提出加算 1/データ提出
加算 3（療養病棟入院料 2）・入退院支援加算 2・救急医療管理加算・認知症ケア
加算 2・診療録管理体制加算 3・せん妄ハイリスク患者ケア加算・医師事務作業
補助体制加算 2・排尿自立支援加算 50 対 1 補助体制加算・地域包括ケア入院
医療管理料 1・急性期看護補助体制加算・入院時食事療養費(I)/入院時生活療養
費(I) 50 対 1 急性期看護補助体制加算・重症者等療養環境特別加算

(2) 特掲診療科

糖尿病合併症管理料・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト・がん性疼痛緩和指導管理料・補聴器適合検査・二次性骨折予防継続管理料1・小児食物アレルギー負荷検査・二次性骨折予防継続管理料2・CT撮影及びMRI撮影・二次性骨折予防継続管理料3・無菌製剤処理料・ニコチン依存症管理料・脳血管疾患等リハビリテーション料(II)・がん治療連携指導料・運動器リハビリテーション料(I)・外来排尿自立指導料・呼吸器リハビリテーション料(I)・薬剤管理指導料・人工腎臓・地域連携診療計画加算・導入期加算1・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料・透析液水質確保加算・医療機器安全管理料1・下肢末梢動脈疾患指導管理加算・別添1の「第14の2」の1の(2)に規定する在宅療養支援病院・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術・在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料・輸血管理料II・在宅がん医療総合診療料・輸血適正使用加算・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料(遠隔モニタリング加算)・胃瘻造設時嚥下機能評価加算・持続血糖測定器加算・麻酔管理料(I) (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)・看護職員処遇改善評価料6.6及び皮下連続式グルコース測定・外来・在宅ベースアップ評価料(I)・検体検査管理加算(I)・入院ベースアップ評価料6.3

6 不動産

(1) 土地

総面積	17,381.20 m ²
(内訳) 当院所有地	12,528.62 m ²
借用地	4,852.58 m ²

(2) 建物

総面積	6,903.01 m ²
-----	-------------------------

7 その他機能・付帯施設等

健診センター（人間ドック、各種検診）、人工透析、訪問診療、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、介護医療院（34床）

1 年間のあゆみ

令和 6 年

- 4 月 1 日 辞令交付式
新院長挨拶
新入職員オリエンテーション
- 3 日 介護医療院行事「お花見・お茶会」
- 8 日 広報誌「ひだまり vol.94」発行
- 17 日 全国赤十字医療施設長会議
- 19 日 松川町定例連絡会
- 23・24 日 全国赤十字看護部長会議
- 25 日 全国赤十字医療施設事務部長会議
- 26 日 日本赤十字社長野県支部事務部長会議・人事交流委員会
- 5 月 4 日 小児救急当番
- 12～18 日 看護週間
- 13 日 消防訓練（搬送）
- 20 日 松川町定例連絡会
- 24 日 第 1 回医療安全研修「転倒転落に関する話題」
- 6 月 3 日 救護班任命式
- 5 日 監査委員監査（決算）
- 7 日 職員歓迎会（会場：防災センター）
- 15 日 長野県支部医療救護班研修（日本赤十字社長野県支部）
- 18 日 日本赤十字社長野県支部評議員会・業務連絡会議・人交流委員会
介護医療院通信「ひなたぼっこ春号」発行
- 20 日 松川町定例連絡会
- 7 月 1～2 日 長野県内赤十字施設職員 中堅職員研修
- 4～5 日 長野県内赤十字施設職員 係長級職員研修

- 5日 七夕飾りつけ
- 8日 広報誌「ひだまり vol.95」発行
- 9日 しごと未来フェア（松川中）
- 10日 松川町日赤奉仕団ラベンダーポプリ作り
- 11～12日 長野県内赤十字施設職員 課長級職員研修
- 12～13日 中部ブロック院長会議
- 16・23日 院内 BLS 研修（主催：リスクマネジメント委員会）
- 19日 第2回医療安全研修「COVID-19 2024 夏」
- 20日 松川町新井祇園祭り
- 21日 こころのケア研修（会場：諏訪赤十字病院）
- 22日 松川町定例連絡会
- 23日 日赤看護部長塾
- 25日 第16回中部ブロック赤十字病院スポーツ大会 壮行会
- 26日 下伊那赤十字病院運営協議会
- 28日 第16回中部ブロック赤十字病院スポーツ大会 @中京大学
- 30日 第31回清流苑まつり
- 31日 介護医療院行事「夏まつり」
- 8月 1日 医療職体験会（主催：飯伊包括医療協議会）
- 5・20・21日 救護員としての赤十字看護師研修（諏訪会場）
- 9日 介護医療通信「ひなたぼっこ夏号」発行
- 15日 小児救急当番
全国戦没者追悼式（半旗の掲揚、黙とう）
- 20日 松川町定例連絡会
- 26日 台風10号臨時災害対策本部立ち上げ
- 28日 指定居宅（介護予防）サービスの運営指導
- 30日 令和6年度職員接遇マナー研修
- 9月 6日 感染管理室長会議（本社）

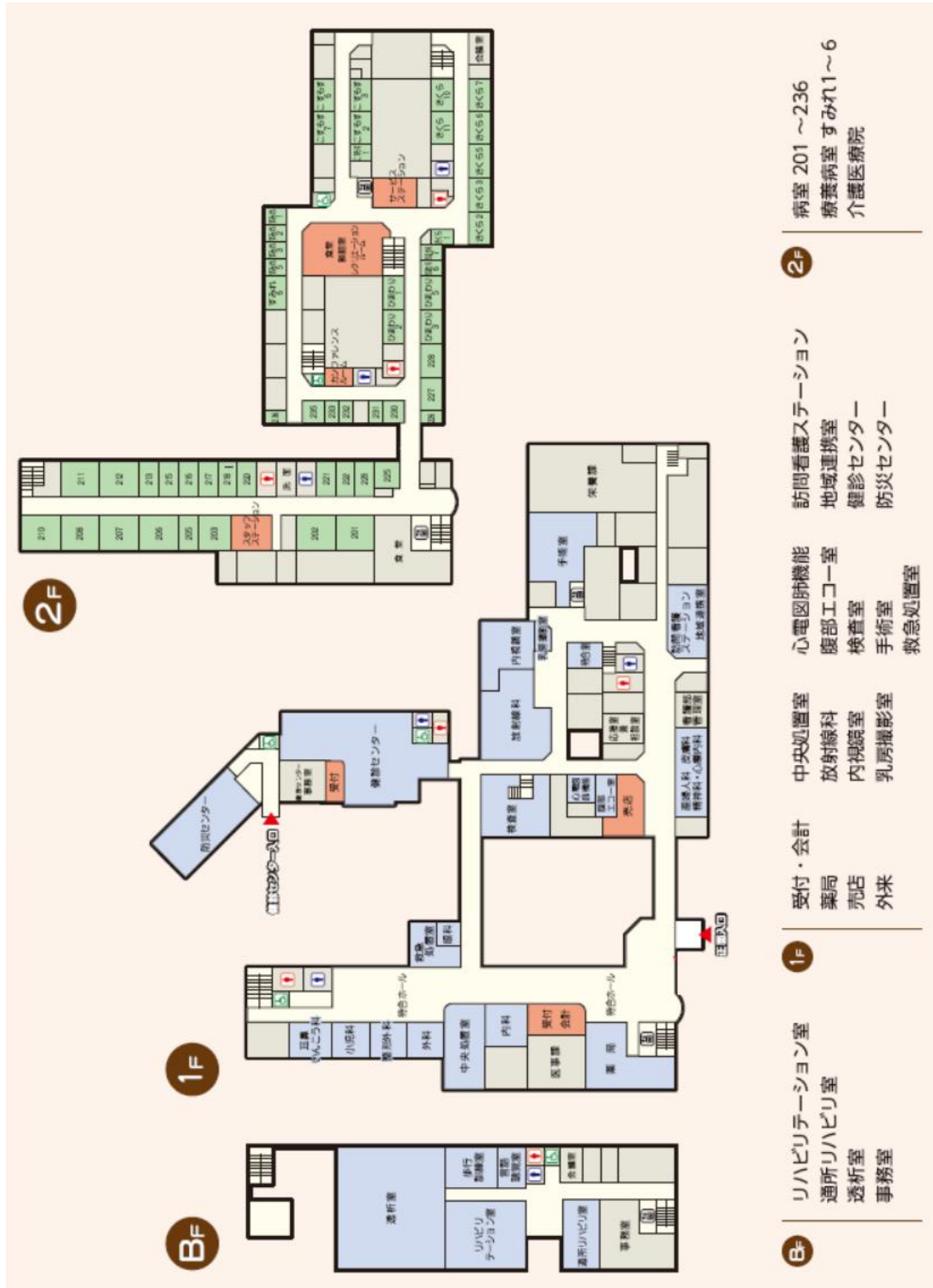
- 10 日 施設基準に係る適時調査
- 13 日 介護医療院行事「敬老会」
- 20 日 松川町定例連絡会
- 24 日 電子カルテ運用開始
- 29 日 長野県支部合同災害救護訓練@飯山赤十字病院 ※中止
- 10 月 3 日 こころのケア研修（会場：日本赤十字社長野県支部）
感度交換訓練
- 4 日 中部ブロック看護部長会議
- 7 日 広報誌「ひだまり vol.96」発行
日赤健康まつり全体会
- 9 日 介護医療院行事「ミニ運動会」
- 9～11 日 日赤病院長塾
- 10～20 日 職場環境満足度調査
- 12 日 日赤健康まつり
- 13 日 ふれあい広場
- 17～18 日 日赤医学会総会
- 18 日 松川町定例連絡会
- 21 日 令和 5 年度決算にかかる監査委員監査の施設視察訪問
- 21～23 日 安全運転講習会
- 24 日 院内災害訓練キックオフ
- 25～26 日 中部ブロック副院長会議
- 31 日 院内災害訓練
- 11 月 7 日 中部ブロック赤十字病院事務部長会議
- 11 日 保健所立入検査
- 14～15 日 本社会計業務支援
- 15 日 松川町議会議員選挙
第 3 回医療安全研修「便通異常症ガイドライン解説」

介護医療院通信「ひなたぼっこ秋号」発行

- 22・29日 メンタルヘルス研修
- 26日 病診連携懇談会
- 28日 全国赤十字病院事務部長会研修会
- 12月2～27日 ハラスメント防止研修（課長級以上）
 - 4日 消防訓練（対象者：夜間日直事務担当者）
 - 6・7日 救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修
 - 6・11日 個人情報 の適正な取扱いにかかる研修
- 11・12日 日赤院長塾
 - 17日 介護医療院運営指導
 - 18日 介護医療院行事「クリスマス会」
 - 18日 ハラスメント防止研修（全職員向け）
 - 19日 松川町定例連絡会
 - 23日 消防訓練（通報）
 - 27日 仕事納め式
- 令和7年
 - 1月 2日 小児救急当番
 - 6日 仕事始め式
 - 14日 広報誌「ひだまり vol.97」発行
 - 14～2/18 患者満足度調査
 - 17日 第4回医療安全研修「モニター心電図の基礎」
 - 介護医療院通信「ひなたぼっこ冬号」発行
 - 19日 松川町定例連絡会
- 2月 8・9日 第3ブロック赤十字救護班研修会（会場：愛知県）
- 10日 日赤長野県支部評議員会&人事交流委員会
- 15日 日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修会（WEB）
- 20日 松川町定例連絡会

- 26日 松川町議意見交換会
- 3月 5日 消防訓練（消火）
- 14日 第5回医療安全研修「感染性胃腸炎対策の基本と嘔吐物処理」
- 19日 松川町定例連絡会
- 31日 離任式

建物平面図



職員名簿 (令和6年4月1日)

氏名	職種	役職	氏名	職種	役職	氏名	職種	役職	
12			35			21			
一般病棟			療養病棟/介護医療院						
白子 隆志	医師	院長	田桐 美紀	看護師	師長	眞島 裕美	看護師	師長	
森下 浩	医師	副院長	熊谷 好志子	看護師	係長	松村 みどり	介護福祉士	係長	
栗原 章浩	医師	部長	森上 幸恵	看護師	係長	北林 あゆみ	看護師	主任	
細田 昌良	医師	部長	池場 きよ子	看護師		真島 元洋	介護福祉士	主任	
岩波 和利	医師	部長	沢田 泉	看護師		壬生 和子	看護師		
柴田 浩範	医師	部長	宮下 真由美	看護師		高橋 洋子	看護師		
横田 陽一	医師	部長	古林 明子	看護師		小嶋 春香	看護師		
武井 隼人	医師	副部長	伊藤 友里香	看護師		上沼 博子	看護師		
パート 網野 章由	医師	名誉院長	小池 千代美	看護師		伊藤 由紀	看護師		
パート 伊藤 篤	医師		知久 由奈	看護師		下沢 瑠織	看護師		
パート 柘植 善明	医師		三石 綾香	看護師		松下 彩音	看護師		
常勤嘱託 高木 和子	事務		杉戸 千香	看護師	育短	吉田 汐里	看護師		
3			村澤 綾香	看護師		井原 美香子	准看護師		
熊谷 幸雄	薬剤師	課長	安野 美香	看護師		高橋 みゆき	介護福祉士		
松崎 淳	薬剤師	主任	今村 待子	看護師		松下 彩	介護福祉士		
再雇用 牧内 宏明	薬剤師		熊谷 慧美	看護師		片桐 みゆき	看護助手		
5			伊藤 百花	看護師		尾崎 マリ	看護助手		
有賀 和広	臨床検査技師	課長	宮下 智子	看護師		常勤嘱託 岡部 政行	看護助手		
村澤 俊幸	臨床検査技師	係長	森 千晶	看護師		再雇用 宮下 初子	介護福祉士		
木村 真紀	臨床検査技師	係長	林 柚葉	看護師		パート 林 伸子	看護師		
パート 山崎 信彦	臨床検査技師		宮澤 里彩	看護師		パート 佐々木 和恵	事務		
パート 村澤 美由紀	臨床検査技師		丸山 陽子	看護師		1			
8			福澤 美幸	看護師	育短	笠原 俊彦	事務	部長	
瓜尾 昌恵	理学療法士	課長	宇佐美 雄太	看護師		3			
荒井 真次	理学療法士	係長	小林 あゆみ	看護師	育短	会計課兼 後藤 希代子	事務	係長	
山下 圭一	作業療法士	係長	小田切 俊一	看護師		片桐 美帆	事務	係長	
丸山 大介	理学療法士	主任	松井 千花	看護師		常勤嘱託 熊谷 典子	事務		
塩澤 美芽	理学療法士	育短	藤原 有希	看護師		6			
三ツ井 遥希	作業療法士		出向 二階堂 天音	看護師		矢崎 貴義	事務	課長	
渡邊 未紀	作業療法士		パート 橋 いく江	看護師		総務課兼 後澤 真帆	事務		
常勤嘱託 奥田 恵美子	業務員		パート 松下 弥生	看護師		山本 初男	業務員		
3			パート 熊谷 葉子	准看護師		常勤嘱託 丸岡 芳子	事務		
武田 真弘	診療放射線技師	課長	常勤嘱託 山下 はるみ	看護助手		常勤嘱託 筒井 俊光	事務		
下平 和紀	診療放射線技師	主任	常勤嘱託 田本 美香	看護助手		再雇用 米山 久則	業務員		
パート 河野 典子	診療放射線技師		パート 川久保 香織	看護助手		4			
2						総務課長兼 古島 俊哉	事務	課長	
青島 貴子	管理栄養士	課長	18			唐澤 和義	事務	係長	
松崎 沙織	管理栄養士		曾根 愛子	看護師	師長	米山 大地	事務		
7			松下 美幸	看護師		寺澤 真生	事務		
湯澤 一志	臨床検査技師	課長	伊藤 俊士	看護師		医療社会事業部			
吉田 沙織	保健師	係長	佐藤 浩代	看護師		4			
渡邊 恵美菜	保健師		大藏 理江	准看護師		佐治 香織	事務	係長	
平栗 ありさ	保健師		常勤嘱託 芹澤 亜弥香	看護師		今村 佳奈子	医療社会事業司	係長	
塚本 久恵	看護師		パート 荻原 恵	看護師		米山 果歩	医療社会事業司		
常勤嘱託 安江 あかね	保健師		パート 阿部 真理	看護師		三石 由香	医療社会事業司		
パート 小松原 舞	保健師		パート 山上 彩	看護師		7			
7			パート 池上 しのぶ	助産師		訪問看護ステーション			
牧内 明美	看護師	部長	パート 鈴木 千恵	視能訓練士		管理者 細江 久子	看護師	師長	
地域連携課長兼 佐藤 尚子	看護師	副部長	【透析室】			(7)	原 由美子	看護師	主任
田口 志保	看護師	師長	荒井 美和子	看護師	係長(透)	村上 智恵子	看護師		
矢部 茂美	看護師	師長	宇佐美真里子	看護師	主任	常勤嘱託 上沼 久美	看護師		
パート 黒川 優子	看護師	(オレンジ)	堀木 秀美	臨床工学技士	主任	パート 松沢 優子	看護師		
パート 下平 洋子	医療社会事業司	(オレンジ)	米澤 ちはえ	看護師		再雇用 高田 美幸	看護師		
再雇用 稲福 由美子	事務		平林 奈美	看護師	育短	3			
6			村松 彩也	臨床工学技士		管理者 伊藤 文子	介護支援専門員		
伊藤 可奈子	看護師	育休	上沼 大祐	臨床工学技士		小林 和子	看護師		
中島 華奈	看護師	育休	15			パート 横山 雅子	介護支援専門員		
丸田 彩加	看護師	育休							
南島 茜	看護師	育休							
和木 麻衣	介護福祉士	産休							
パート 大場 燎	看護助手	育休							

委員会

	委員会	委員長	副委員長	事務局	委員
1	感染対策委員会	細田昌良	松下美幸	臨床検査課 (有賀和広)	白子隆志、笠原俊彦、牧内明美、熊谷幸雄、有賀和広、田桐美紀、眞島裕美子、田口志保、佐藤尚子
2	栄養委員会	横田陽一	青島貴子	栄養課 (青島貴子)	牧内明美、三ツ井遙希、伊藤友里香、佐藤浩代、高橋みゆき、松崎沙織、唐澤和義
3	リスクマネージメント委員会	横田陽一	田口志保 (医療安全管理者)	地域連携課(佐治香織)	横田陽一、牧内明美、熊谷幸雄、有賀和広、瓜尾昌恵、田桐美紀、眞島裕美子、曾根愛子、細江久子、矢崎貴義、古島俊哉、武田貞弘、青島貴子、佐治香織、松村みどり
4	サービス向上委員会	牧内明美	横田陽一	総務課 (後澤真帆)	武井隼人、宮澤里沙、宇佐美真里子、安江あかね、武田貞弘、寺澤真生、松下彩、後澤真帆
5	訪問看護 ST 運営委員会	栗原章浩		訪問看護 ST(細江久子)	笠原俊彦、牧内明美、細江久子、矢崎貴義、古島俊哉
6	血液製剤委員会	森下 浩		臨床検査課 (有賀和広)	田口志保、熊谷幸雄、有賀和広、田桐美紀、曾根愛子、古島俊哉
7	購買委員会	白子隆志		会計課 (矢崎貴義)	栗原章浩、笠原俊彦、牧内明美、瓜尾昌恵、村松彩也、矢崎貴義、後澤真帆
8	薬事委員会	森下 浩		薬剤課 (熊谷幸雄)	栗原章浩、細田昌良、岩波利和、柴田浩範、横田陽一、武井隼人、笠原俊彦、牧内明美、矢崎貴義、古島俊哉、松崎淳
9	診療録管理委員会	岩波利和		医事課 (米山大地)	武井隼人、田桐美紀、眞島裕美子、曾根愛子、古島俊哉、唐澤和義、市瀬真子(診療録管理士)
10	医療ガス設備安全対策委員会	森下 浩		会計課 (矢崎貴義)	栗原章浩、横田陽一、熊谷幸雄、田桐美紀、眞島裕美子、曾根愛子、唐澤和義、村松彩也
11	広報委員会	横田陽一		地域連携課 (佐治香織)	岩波利和、松崎淳、村澤俊幸、松崎沙織、下平和紀、堀木秀美、伊藤百花、眞島元洋、渡邊未紀、小林和子、片桐美帆
12	倫理委員会	森下 浩		総務課 (片桐美帆)	栗原章浩、柴田浩範、笠原俊彦、牧内明美、熊谷幸雄、有賀和広
13	褥瘡対策委員会	栗原章浩		医事課 (米山大地)	細江久子、宮下真由美、松井千花、森上幸恵、伊藤由紀、熊谷幸雄、松崎沙織、木村真紀、荒井真次
14	災害対策委員会	白子隆志		総務課 (片桐美帆)	栗原章浩、笠原俊彦、牧内明美、熊谷幸雄、有賀和広、田桐美紀、曾根愛子、武田貞弘、山下圭一、矢部茂美
15	身体拘束委員会	栗原章浩	眞島裕美子	療養病棟	田口志保、沢田泉、小池千代美、宮下初子、芹沢亜弥香、原由美子
16	虐待防止委員会	栗原章浩	眞島裕美子	療養病棟	笠原俊彦、熊谷幸雄、瓜尾昌恵、田桐美紀、細江久子、

17	安全衛生委員会	笠原俊彦		総務課 (後藤希代子)	細田昌良、牧内明美、藤原有希、下平和紀、宇佐美真里子、森上幸恵
18	病院祭企画委員会	森下 浩	松崎淳	下平和紀	木村真紀、下平和紀、青島貴子、伊藤由紀、宮下初子、今村佳奈子、上沼久美、後藤希代子、山本初男、寺澤真生 宇佐美真里子、三ツ井遥希、山下圭一、伊藤百花、松井千花
19	臨床検査適正化検討委員会	細田昌良		臨床検査課 (有賀和広)	有賀和広、村澤俊幸、木村真紀
20	透析機器安全管理委員会	栗原章浩		臨床工学技術課 (松村彩也)	有賀和広、矢崎貴義、村松彩也、堀木秀美
21	DPC コーディング委員会	白子隆志		医事課 (米山大地)	森下浩、栗原章浩、細田昌良、岩波利和、柴田浩範、横田陽一、武井隼人、熊谷幸雄、古島俊哉
22	摂食嚥下委員会	細田昌良	山下圭一	医事課 (米山大地)	横田陽一、伊藤友里香、宮下智子、高橋洋子、片桐みゆき、佐藤浩代、伊藤文子、松崎淳、武田貞弘、青島貴子、木村真紀、三ツ井遥希
23	診療体制検討委員会	兼外来担当: 森下 浩	病棟担当: 細田昌良・健診担当: 栗原章浩	医事課 (唐澤和義)	白子隆志、岩波利和、柴田浩範、横田陽一、武井隼人、曾根愛子、田桐美紀、眞島裕美子、細江久子、熊谷幸雄、有賀和広、武田貞弘、青島貴子、瓜尾昌恵、矢崎貴義、後藤希代子、古島俊哉、唐澤和義、佐藤尚子、オブザーバー笠原俊彦、オブザーバー牧内明美
24	医療放射線安全管理委員会	森下 浩 (医療放射線管理責任者)		臨床放射線課 (武田貞弘)	細田昌良、牧内明美、田口志保、下平和紀
25	電子カルテ導入委員会	森下 浩	牧内明美 栗原章浩	医事課 (古島俊哉)	岩波利和、武井隼人、矢部茂美、宇佐美雄太、伊藤由紀、荒井美和子、伊藤俊士、細江久子、田口志保、熊谷幸雄、村澤俊幸、瓜尾昌恵、武田貞弘、青島貴子、佐治香織、矢崎貴義、唐澤和義、古島俊哉
26	個人情報管理委員会	白子隆志	笠原俊彦	総務課 (片桐美帆)	森下浩、栗原章浩、牧内明美、瓜尾昌恵

(令和6年4月1日時点)

感染対策委員会

1 目的

院内感染対策を効果的・効率的に機能させ、院内感染対策を推進する

2 活動内容または審議事項

- (1) 院内感染対策のマニュアルの作成および改訂
- (2) 院内感染の予防と対策に関する啓蒙
- (3) その他院内感染の予防と対策に必要なこと

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月9日	発熱外来の停止について
令和6年5月14日	一般病棟の nCoV クラスターの経過
令和6年6月11日	委員会の会議内容フォーマットの変更について
令和6年7月9日	一般病棟ラウンドの報告、血液培養ボトルの出荷調整
令和6年8月5日	医療院・透析室のラウンド報告
令和6年9月2日	ラウンド報告、薬品不足問題
令和6年10月8日	リハビリ室・廃棄物保管庫のラウンド報告
令和6年11月12日	保健所立入検査報告
令和6年12月10日	ラウンド報告、年末年始の対応について
令和7年1月14日	病棟職員のインフルエンザ感染について
令和7年2月17日	院内研修の予定、嘔吐物セットの変更について
令和7年3月11日	医療院の hMPV アウトブレイクについて

栄養委員会

1 目的

入院患者・入所者が療養上必要な栄養を十分に摂取でき、治療効果が上がるような食事療法の検討、また安全安心な食事の提供をすることの検討をし、職員が栄養療法を適切に行えるよう正しい知識・技術の定着を促し、問題解決に取り組むことを目的とする。

2 活動内容または審議事項

- (1) 厨房工事のため患者給食が弁当になるため、食品の安全と患者様の状態にあった食事の提供をすりための審議
- (2) 食品アレルギーの除去方法やオーダーの仕方、聞き取りの手順をマニュアル化するための審議
- (3) 電子カルテ導入による食事オーダーのマニュアル化のための審議
- (4) 栄養補助食品の適正使用に向けた審議
- (5) GLIM 基準による栄養診断導入の周知

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月25日 臨時委員会	厨房内工事における食事内容について
令和6年5月23日	厨房内工事における食事内容について最終確認 栄養補助食品の適正使用について 食中毒強化月間について
令和6年6月26日 臨時委員会	オーダーリングのマスターの一部修正について 食品アレルギーの食事対応について
令和6年7月25日	アレルギー対応の確認事項
令和6年9月26日	電子カルテ導入による、補助食品オーダーの変更について 給食委託会社の仕様書見直しについて 8月の献立会議でのゼネラルさんからの要望について
令和6年11月28日	患者嗜好調査の結果報告 電子カルテ導入に伴うマニュアルの見直しについて 年末年始の補助食品の発注締め切りについて 外来栄養指導の流れについて
令和7年1月23日	患者用非常食の選定について 食事オーダーマニュアルについて ソフト食の試食
令和7年3月27日	GLIM 基準を用いての栄養診断について 栄養補助食品の症金額と今後の見直しについて 令和6年度栄養指導件数報告 栄養委員化の来年度の委員メンバー・取組事項について

医療安全管理対策委員会

1 目的

当院における患者と職員の安全と安心を確保し、また、組織に与える損失を最小限におさえ医療事故を予測・防止するために、院内全般における問題点を把握し改善策を見いだすことを目的として、リスクマネジメント委員会（以下「委員会」という）を設置する。

2 活動内容または審議事項

医療安全推進室での週1回の医療安全推進室カンファレンス、月1回の医療安全推進室会議にもとづき、医療安全管理対策委員会を開催し、以下の業務を行った。

- (1) 医療に係る安全管理のための報告制度等で得られた事例の検討、再発防止策の策定および周知
- (2) 院内の医療事故防止活動および医療安全研修の企画・立案
- (3) その他、安全管理のために必要な事項の審議・検討

3 活動報告

(1) インシデント・アクシデントレポート報告数

インシデント・アクシデントの内容	件数 (件)		構成比 (%)	
①薬剤 内服	51	79	15.27	23.65
注射	19		5.69	
その他	9		2.69	
②輸血	0		0.00	
③治療・処置	30		8.98	
④医療機器等・医療材料の使用・管理に関する項目	2		0.60	
⑤ドレーン・チューブ類の使用・管理に関する項目	56		16.77	
⑥検査に関する項目	40		11.98	
⑦療養上の世話に関する項目 転倒・転落	64	123	19.16	36.83
転倒・転落以外	59		17.66	
⑧その他	4		1.20	
総数	334		100.00	

(2) 医療安全研修実施状況

	研修テーマ	講師	会場参加	テスト受講
1	転倒・転落に関する話題	エーザイ株式会社 団野 和久	57名	64名
2	COVID-19 2024 夏	第二内科部長 細田 昌良 感染管理認定看護師 松下 美幸	58名	69名
3	便通異常症ガイドライン解説/ インシデント・アクシデントの報告制 度	オムニチャンネル 松下 敦 医療安全管理者 田口 志保	52名	97名
4	モニター心電図の基礎	日本光電工業株式会社 臨床工学技士 村松 彩也	49名	95名
5	感染性胃腸炎対策の基本と嘔吐物処理	感染管理認定看護師 知久 由奈	62名	69名

サービス向上委員会

1 目的

- (1) 患者サービス向上の活動を策定し、その実施の推進を図るため
- (2) 職員の接遇意識の醸成、その活動を支援するため
- (3) 委員が率先垂範者として活動を展開するため

2 活動内容または審議事項

- (1) 患者サービスの向上を図るための企画等に関する事
- (2) 患者からの苦情・ご意見に関する事
- (3) 職員の接遇に関する事
- (4) 患者に関わる環境の改善に関する事
- (5) その他患者サービスの改善及び合理化に関する事

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度活動計画について ・目標管理シート結果報告について
令和6年5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度患者満足度調査結果について（報告） ・院内敷地内の除草作業について

令和6年6月19日	・七夕飾りつけについて
令和6年7月17日	・令和6年度の院内ラウンドについて
令和6年8月21日	・職員接遇マナー研修について ・令和6年度の院内ラウンド結果 ・売店の利用について
令和6年9月18日	・職員接遇マナー研修報告・研修動画上映について ・令和6年度職場環境満足度調査の実施について
令和6年10月23日	・令和6年度職場環境満足度調査の実施について（経過報告） ・クリスマスツリーの設置について
令和6年11月20日	・9月・10月議題の経過報告
令和6年12月18日	・令和6年度患者満足度調査について（実施方法等）
令和7年1月15日	・職員向け自己啓発ポスターの掲示について
令和7年2月19日	・職員提言箱の運用（ポスター表示）について
令和7年3月19日	・来年度の委員会について ・あいさつ運動振り返り・来年度のあいさつ運動について ・接遇・マナーについて

訪問看護ステーション運営委員会

1 目的

- (1) 訪問看護ステーション（以下ステーション）の運営規約に基づき、ステーションの円滑な運営を図ることを目的とする
- ア 運営規定・契約書・重要事項説明書の定期的な見直し
- イ 稼働状況の確認
- ウ 働きやすい職場づくりの提案

2 活動内容または審議事項

- (1) 運営規定 「虐待防止のための措置」について記載し修正した
- (2) 毎月の稼働報告の確認 状況の分析
- (3) オンライン請求オンライン資格確認の導入について導入について
- (4) 夜間休日の直行直帰の体制づくり

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年6月5日	稼働状況の確認 オンライン請求、オンライン資格確認の導入について 夜間休日の直行直帰の体制づくり
令和6年12月4日	稼働状況の確認 訪問利用者が減少している状況を分析 医師とのかかわりの提案

血液製剤委員会

1 目的

血液製剤の保管管理、使用状況、事故及び副作用や合併症対策について検討し、血液製剤の適正使用の徹底をはかり、適正で安全な輸血療法を推進する

2 活動内容または審議事項

- (1) 血液保管マニュアルの作成
- (2) 血液製剤の保管管理、使用にかかわること
- (3) 安全で適正な血液製剤の使用を推進する

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月25日	2・3月の製剤使用状況、センターのオンライン化について
令和6年6月27日	4・5月の製剤使用状況
令和6年8月29日	6・7月の製剤使用状況、電子カルテ関連
令和6年10月31日	8・9月の製剤使用状況、電子カルテ関連
令和6年12月27日	10・11月の製剤使用状況、電子カルテ関連
令和7年2月27日	12・1月の製剤使用状況、電子カルテ関連

購買委員会

1 目的

(1) 委員会は次の事項について協議し、購買業務の適切な運営を図ることを目的とする。

- ア 本体が20万円（消費税込み）以上の器機の購入に関すること
- イ 緊急以外の大規模施設設備に関すること
- ウ 緊急以外の大規模営繕に関すること

2 活動内容または審議事項

- (1) 20万円以上の医療機器、備品等の物品の購買計画に関すること
- (2) 緊急以外の施設設備の計画に関すること
- (3) 緊急以外の大規模営繕の計画に関すること

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年7月29日	・令和6年度 機器整備計画
令和6年11月19日	・令和6年度整備物品の審議 ・令和7年度整備物品の審議
令和6年12月4日	・令和7年度整備物品の審議
令和6年12月23日	・一般病棟 特浴について

薬事委員会

1 目的

医薬品適正使用を推進し、効率的な薬物療法により患者および病院経営に寄与し、薬事全般にわたる審議を行う

2 活動内容または審議事項

- (1) 新規採用薬品の審議
- (2) 中止医薬品の審議
- (3) 医薬品の安全使用に関する審議
- (4) 医薬品流通、院内在庫に関する連絡等
- (5) 後発医薬品使用体制加算について

(6) その他、医薬品適正使用に関する伝達、共有

3 活動報告

開催日	主な議題
毎月第二月曜日医局会開催 時に同時開催	新規採用薬剤、中止薬剤等の審議、その他医薬品安全使用に関する連絡、周知等
令和6年度開催日：4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、8月13日、9月9日、10月7日、11月11日、12月9日、1月14日、2月10日、3月10日	

4 令和6年度総括

国の政策として後発医薬品の使用促進を奨励する中、数年前から続く後発医薬品メーカーの不正に伴う医薬品の流通の遅延が今年度も大きく影響し、後発医薬品自体が発売中止となるなど、医薬品の確保に苦心する年となりました。後発医薬品使用を増やしたいが入手自体が難しい場合もあり、日常の診療業務に支障が出ないように医薬品の確保を第一に取り組まなければならない場合もありました。当院の採用も後発医薬品から先発品に切り替えた薬品もありました。来年度も流通遅延が全て解消される見込みはなさそうである。

診療録管理委員会

1 目的

診療録について調整審議し、適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする。

2 活動内容または審議事項

- (1) 診療録及び各種伝票の改廃に関する事
- (2) 診療記録の様式及び各種文書に関する事
- (3) 診療録の保管（期間、場所）等に関する事
- (4) 病歴室の管理・運営に関する事
- (5) 監査
- (6) その他診療録等に関する事

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・規約の見直し～診療記録の保管を鑑み毎月の定期開催が必要と思われる～ ・電子カルテ導入に向けてのマニュアル整備 ・電子カルテ導入後の文書スキャンについて ・破棄カルテ ID の取り扱いについて
令和6年7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ導入に向けてのマニュアル（案）整備 ・サブカルテについて ・電子カルテ導入後の文書スキャンについて
令和6年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ導入に向けてのマニュアル（案）整備 ・サブカルテについて ・電子カルテ導入後の文書スキャンについて
令和6年9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャン文書の保管について ・電子カルテ内の文書管理について
令和6年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ導入に向けてのマニュアル ・スキャンについて
令和6年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャン文書について ・前回カルテを出すかどうか ・当委員会の資料等について
令和6年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャン文書について ・監査の実施について
令和7年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャン文書について ・説明書及び同意書 ・スキャン文書の手順の一部修正について ・監査の実施について
令和7年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャン文書について ・診療録修正・削除の手順について ・外部機器による画像データ保存に関する手順について ・診療録監査の実施について
令和7年3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・診療録監査の実施について

医療ガス設備安全対策委員会

1 目的

当院における全ての医療ガスにつき、その品質管理、定期検査を統括することにより、当院の職員および患者の安全の確保を維持することを目的とする。ここでいう医療ガスとは、診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素、炭酸ガス、エチレンオキサイドガス等をいう。

2 活動内容または審議事項

- (1) 医療ガス設備について、厚生省の指針に基づいて、実施責任者に保守点検業務を行わせる。なお、配管設備等の部分については、医療法施行規則第9条の13に規定する基準に適合する者に委託して行ってもよい。
- (2) 医療ガス設備に係わる新設及び増設工事、部分改造、修理等にあたっては、臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験、検査を行い安全を確認する。
- (3) 医療施設内の各部門に、医療ガスに関する知識を普及し、啓発につとめる。
- (4) 医療ガスに関する事故が発生した場合、速やかに臨時委員会を開催し、当院リスクマネジメント委員会の指示を仰ぎ、事故原因の究明と今後の対策などについて検討する。

広報委員会

1 目的

広報委員会は、下伊那赤十字病院のことを患者様、連携開業医師や各医療機関をはじめ多方面の方に、より深く理解していただく為に、広報誌「ひだまり」を年4回(3ヵ月に1回)発行し、チャンネル・ユーの協力を得ながら医療やイベント等の情報番組「日赤ほっとチャンネル」を基本毎月制作・放送し、ホームページやSNS(Instagram)についても日々更新するよう、検討・見直しを実施することを目的とする。

2 活動内容または審議事項

この委員会で、ひだまり・ほっとチャンネル及びホームページやSNSに掲載・放

送る内容を議論・検討し、より良い記事の掲載とより良い内容の放送を行うこととする。

3 活動報告

令和6年度 広報誌「ひだまり」掲載記事一覧

ページ数	令和6年4月発行 (94号)
1	白子院長就任挨拶、能登半島地震災害救護・支援報告
2・3	白子医師インタビュー記事
4	外来診療担当表、お知らせ(新入職員紹介、診療体制・発熱外来について)
ページ数	令和6年7月発行 (95号)
1	日赤健康まつり開催のお知らせ
2	透析室紹介
3	令和5年度患者満足度調査結果のご報告
4	外来診療担当表、お知らせ(マイナ保険証、Instagramについて)
ページ数	令和6年10月発行 (96号)
1	介護医療院敬老会(写真)、デジタルX線透視システム更新について
2・3	電子カルテ導入について、外来受診の流れ
4	外来診療担当表、お知らせ(整形外科外来完全予約制について)
ページ数	令和7年1月発行 (97号)
1	白子院長新年挨拶、介護医療院クリスマス会
2	松川町認知症初期集中支援チームの紹介
3	地域病院の役割分担と住民の方へのお願い
4	外来診療担当表、お知らせ(病院祭での募金お礼、職員募集)

倫理委員会

1 目的

下伊那赤十字病院の医療・研究における医学倫理規程及び、臨床倫理指針を遵守することを目的とする。

2 活動内容または審議事項

(1) 「医学研究」に関する事案

医の倫理のあり方についての必要事項を検討するため、研究者から申請された医療・研究の実施計画（以下「計画」という。）の内容、計画の実行並びにその成果の公表について審査する。

(2) 「臨床倫理」に関する事案

病院で行う医療行為について生じる、または生じる可能性の高い倫理的な課題に対して、病院の医師をはじめとする医療従事者及び事務職員（以下「病院職員」という。）から申請された事項について、病院長の諮問に基づいて審議し、その結果を答申するものとし、次に掲げる事項を行う。

- ア 当院の臨床倫理問題に関する指針や基本方針などの作成及び提言を行う。
- イ 新しい診療技術の実施に係る倫理的事項について審議する。
- ウ 現場実践における臨床倫理問題に関する事例の相談に対応する。
- エ その他、病院長は必要と認めた事項について審議する。

3 活動報告

(1) 委員会の開催

開催日	主な議題
令和7年2月25日	・医学倫理規程、委員会細則等の見直しについて ・倫理審査の申請について

(2) 倫理審査の申請

令和6年度申請件数 2件

褥瘡対策委員会

1 目的

院内の褥瘡対策について検討し、効率的な予防・治療の推進を図ること

2 活動内容または審議事項

(1) 褥瘡の予防、治療にかかる情報収集と活用に関すること

- (2) 入院患者の褥瘡情報の収集と個別的な予防対策の検討に関すること
- (3) 褥瘡と合併する感染予防の実施、監視、指導に関すること
- (4) 院内の総体的な褥瘡の現状および対策の現状に関すること
- (5) 褥瘡の予防、治療にかかる研修会の計画、実施に関すること
- (6) その他褥瘡の予防、治療の推進に関すること

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月23日	・回診について・算定実績について
令和6年5月28日	・回診について・算定実績について
令和6年6月25日	・回診について・算定実績について
令和6年7月23日	・回診について・算定実績について
令和6年8月27日	・回診について・算定実績について
令和6年9月24日	・回診について・算定実績について
令和6年10月22日	・回診について・算定実績について
令和6年11月26日	・回診について・算定実績について
令和6年12月24日	・回診について・算定実績について
令和7年1月28日	・回診について・算定実績について
令和7年2月25日	・回診について・算定実績について
令和7年3月25日	・回診について・算定実績について ・褥瘡対策の来年度院内研修について

災害対策委員会

1 目的

本会は、当院の消防及び地震防災規定に基づき、火災・地震及びその他の災害による被害を防止すること。また、日頃から防災意識の高揚と訓練により患者、来院者及び職員の人命の安全を確保することを目的とする。

2 活動内容または審議事項

- (1) 防災・防火・安全管理に関すること
- (2) 訓練に関すること

(3) その他災害に関すること

3 活動報告

開催日	活動	主な議題
令和6年5月13日	訓練	消防訓練（搬送、緊急メール受信確認）
令和6年6月25日	委員会	災害対策委員会規約の確認 令和6年度災害訓練について（目的・開催日・訓練概要）
令和6年7月30日	委員会	令和6年度災害訓練について（訓練概要）
令和6年8月27日	委員会	令和6年度災害訓練について（キックオフ・訓練） 台風10号上陸に伴う院内の対応について
令和6年10月1日	委員会	令和6年度災害訓練について（詳細確認） 台風10号上陸に伴う院内の対応について（タイムライン） 能登半島大雨災害にかかる第3Bの対応について（情報共有）
令和6年10月24日	研修	令和6年度災害訓練キックオフ
令和6年10月29日	委員会	令和6年度災害訓練について
令和6年10月31日	訓練	令和6年度災害訓練、消防訓練（避難誘導）
令和6年11月26日	委員会	災害訓練の振り返り
令和6年12月6日	訓練	消防訓練（動画視聴）（想定：休日夜間 対象：日当直者）
令和6年12月23日	訓練	消防訓練（通報訓練）
令和6年12月24日	委員会	長野県支部主催「避難所体験ゲーム」の実施について 令和7年度救護班要員の選定について
令和7年1月28日	委員会	令和6年度全体研修の開催について
令和7年1月28日	研修	長野県支部主催「避難所体験ゲーム」※災対委員のみ
令和7年2月25日	委員会	受援BCPの作成について
令和7年2月28日	研修	令和6年度全体研修会（講師：白子院長、矢部師長）
令和7年3月5日	訓練	消防訓練（消火訓練）
令和7年3月25日	委員会	令和6年度委員会活動の振り返りと令和7年度活動計画

身体拘束最小化検討委員会

1 目的

一般病棟・療養病棟・介護医療院の身体拘束に係る現状を把握し、身体拘束最小化に向けたケアのあり方を検討する。また、身体拘束最小化に向けた職員教育・研修を徹底し、常に身体拘束最小化に向けた取り組みを検討・推進するとともに、緊急やむを得ない場合の確認手続きや、拘束時の記録の取り方について周知徹底を図る。

2 活動内容または審議事項

(1) 委員会は前条の目的達成を達成するとともに、次に掲げる活動を行う。

ア 「身体拘束を行わない」方針を職員に周知し、身体拘束を行わない体制を整える。

イ 患者の状態を把握し、身体拘束の危険性を検討するための仕組みを作る。

ウ 認知症に関する研修を行う。

エ 委員会は、定例会を毎月第3木曜日 16:00～開催する。

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月22日	今年度の取り組みについての計画作成
令和6年5月23日	マニュアルについての見直し方法の検討
令和6年6月27日	E-ラーニング視聴計画 1回目：7月 急性期における身体拘束の現状 2回目：10月 身体拘束の倫理的なジレンマ 3回目：1月 急性期病棟での 身体拘束最小化をめざすために「身体拘束アセスメントスコア表」の使用方法の検討
令和6年7月25日	看護部で、E-ラーニング視聴後の各部署から出た意見の交換の内容の共有他の病院で使用しているものを参考に、身体拘束実施基準についての作成
令和6年8月22日	拘束の説明書・同意書について内容を見直して電カルに入れるようにする 拘束実施のフローチャートについても原案作成 経過記録表・経過観察・初回検討記録・検討記録用紙の見直し準備

令和6年9月26日	「身体拘束廃止委員会」の名称について、監査にて指摘があったため、 「身体拘束最小化検討委員会」へ名称変更を検討
令和6年10月24日	書面開催：拘束の説明・同意書の変更案を検討及び決定
令和6年11月28日	拘束の説明・同意書は、諏訪日赤使用の書式を参考にす る 身体拘束マニュアル・アセスメント表の検討
令和7年1月23日	身体拘束実施時の書式見直しについて 身体拘束実施状況確認について： 電カル共有フォルダの委員会フォルダに部署ごとの実施状況入力欄を作り、委員が入力、管理する 第2回研修 E-ラーニングの視聴のお知らせ・周知・視聴促 し 「身体拘束の倫理的ジレンマ」 「急性期病棟での身体拘束最小化を目指すために」
令和6年2月27日	アセスメントシート・説明同意書作成 E-ラーニング途中経過 視聴率 79.6%
令和6年3月27日	説明・同意書確認 マニュアル見直し 第2回研修 職員 147人中（産休・育休除く）130人（88.0%）

虐待防止委員会

1 目的

患者及び利用者が、下伊那赤十字病院の入院病棟、外来、介護医療院、併設の介護サービス事業所に携わる従業者、及び養護者などからの不適切な扱いにより、人権及び安全を侵害され、生命、健康、生活が損なわれるような状態におかれることを防止することを目的とする。

2 活動内容または審議事項

- (1) 虐待防止のための指針を整備する。
- (2) 従業者に対して、虐待防止に関する定期的な研修の実施等、啓発を行う。
- (3) 従業者は、虐待発生時やその疑いが生じた場合は、対応事例を記録して委員会へ

報告する。委員会は報告された事例について状況を分析し、再発防止策、検討結果を従業員に周知・徹底を図る。また状況により、市町村等の関係機関へ報告を行う。

(4) 上記(1)から(3)を適切に実施するための虐待防止担当者を置く。

(5) 委員会は、定例会を4半期に1回(5月・8月・11月・2月 第4月曜日 16:30～)開催するほか、必要に応じて臨時委員会を開催する。

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年5月20日	1 規約の見直し 2 今年度の取り組みについての検討 (1) 研修についてはE-ラーニングの視聴・テストを計画する (2) 松川町の虐待事例についての講演会実施の機会を検討する
令和6年8月19日	1 研修内容の検討：E-ラーニングの内容の確認 「地域の連携による子ども虐待への対応と支援」 「高齢者虐待における病院の役割」 「障がい者虐待における病院の役割」 2 松川町虐待事例についての講演会について ・虐待事例で身の安全確保のために入院される方の対応などの情報交換の機会を持つ ・虐待が疑われる時の通報システムなどについてお聞きし、自分達でできることについて考える機会とする。
令和6年11月18日	第1回虐待防止研修 E-ラーニング 「障がい者虐待における病院の役割」 11/18～12/2を視聴・テスト提出期間として実施 職員150名(産休・育休除く)を対象に実施 135名提出(90%)
令和7年2月12日 令和7年2月14日 令和7年2月25日 令和7年3月3日	第2回虐待防止研修 「虐待といわれる行動・言動について考える機会とする」を目的に、講義・事例を含めたグループワークの実施 参加者 2/12:30名 2/14:28名 2/25:10名 3/3:8名 欠席者対応(対象64名) テストの実施で49名提出(76.6%)

安全衛生委員会

1 目的

労働安全衛生法第 18 条に基づき職員の健康の保持増進を図ることを目的とする

2 活動内容または審議事項

(1) 調査・報告

- ア 労災発生件数
- イ メンタルヘルス上の理由による休業者の有無
- ウ 長時間労働者の人数（勤務時間・職種・業務内容）
- エ ハラスメント相談件数
- オ 年次有給休暇の取得状況

(2) 職員健康診断の実施、二次検査の受診促進

(3) ストレスチェックの実施、集団分析結果のフィードバック

(4) 院内相談窓口の運営

(5) 各種ワクチン接種の実施

(6) ハラスメント対策の協議

(7) メンタルヘルスケア対策、職場復職支援の実施

(8) 安全衛生計画の策定、実施、評価および改善

(9) 安全教育研修の計画および実施

(10) 熱中症対策、転倒事故防止

(11) 医師の働き方改革への対応、医療従事者の業務負担軽減対策、職場環境改善計画策定、実施、評価および改善

3 活動報告

開催日	主な議題
令和 6 年 4 月 30 日	<ul style="list-style-type: none">・ 令和 5 年度の労災発生件数・年次有給休暇取得日数・ 職員健診結果報告、ストレスチェック実施報告・ ストレスチェックの集団分析結果（フィードバック）・ 令和 6 年度の所定労働日数・所定休日数について・ 医療従事者の業務負担軽減計画（期末評価）
令和 6 年 5 月 21 日	<ul style="list-style-type: none">・ 夏休みの計画的付与・ メンタルヘルス不調者への対応

	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくり計画、相談窓口の再周知 ・熱中症対策 ・医療従事者の業務負担軽減計画の策定
令和6年6月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの取得促進 ・全国安全週間 ・熱中症対策 ・B型肝炎ワクチン接種の実施について ・職員健診（夜勤従事者・検査・放射線）実施計画
令和6年7月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の業務負担軽減計画の策定 ・メンタルヘルス研修計画 ・特定保健指導の実施について
令和6年8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇、夏休みの取得促進 ・職場巡視報告と対応策について
令和6年9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の働き方改革、面接指導への対応について ・院内相談窓口の変更 ・全国労働衛生週間 ・在宅勤務制度について
令和6年10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤健保「ウォーキングイベント2024」 ・安全運転講習開催 ・医療従事者の業務負担軽減計画（中間評価）
令和6年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス研修開催 ・医療従事者の業務負担軽減計画（中間報告） ・職員健診、ストレスチェックの実施について
令和6年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止月間 ・ハラスメント防止研修の実施 ・「STOP！冬季労働災害」
令和7年1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇の取得促進 ・感染症、転倒事故への注意喚起
令和7年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度「健康スコアリングレポート」報告 ・職員健診 2月3日～3月21日 ・職場巡視報告と対応策 ・委員会規約の見直し ・令和7年度安全衛生年間計画（案） ・院内相談窓口の運用について
令和7年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健診

	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェック 3月1日～3月14日 ・院内相談窓口の周知について
--	------------------------------------------------------------------------------------------------

4 年次報告

■労働災害の発生状況

7件／うち新型コロナウイルス感染症3件（前年度：11件／うち新型コロナウイルス感染症7件）

■ハラスメント相談件数

3件（前年度：3件）

■年次有給休暇の取得日数

13.7日（前年度：13.1日） ※非常勤含む、20日以上の病欠者を除く

■健康診断

（1）定期健康診断

ア 夜勤者従事者等（7月～8月）

受診者 50／50名（前年度：53／53名）

受診率 100%（前年度：100%）

イ 全職員対象（2月～3月）

受診者 151／152名（前年度：155／160名）

受診率 99.3%（前年度：96.9%）

（2）特定健診

受診者 100／101名（前年度：100／103名）

受診率 99.0%（前年度：97.1%）

（3）特定保健指導

受診者 9／10名

受診率 90.0%（前年度：0.0%）

■ストレスチェック

期間 3月1日～3月14日（2週間）

方法 厚生労働省が定める「職業性ストレス簡易調査票」の57項目・We受検

受検者 115／144名（前年度：122／150名）

受検率 79.9% (前年度 81.3%)

高ストレス者割合 21.7% (前年度 21.3%)

■予防接種

(1) インフルエンザ予防接種

接種者 135/156名 (前年度：138/162名)

接種率 86.5% (前年度：85.2%)

自己負担 1,000円

(2) HB ワクチン接種 (全3回)

接種者 対象者なし (前年度：5名/希望者5名)

自己負担 2,700円/回

■メンタルヘルス研修会

講師：長野県産業保健総合支援センター 小澤 静先生

(1) 管理監督者向け研修

令和6年11月22日(金) 15:30~17:00

参加者 11名

(2) 一般職員向け研修

令和6年11月29日(金) 15:30~17:00

参加者 32名

■ハラスメント防止研修会

研修動画(本社より提供)を視聴する方法により実施

期間 令和6年12月2日(月)~12月27日(金)

(うち上映会：12月18日(水)・12月24日(火) 11:30~16:30)

方法 研修動画(本社提供)の視聴

参加者 108名/149名

参加率 受講率 72.5%

■ハラスメント相談窓口の設置

院内にハラスメント相談員2名(事務部長・看護部長)を置き、職員からの相談に対応している。令和4年11月にQRコードによる相談窓口を開設。匿名による相談も

可能とし、職員が気軽に相談できる体制を整備。院内への周知（名札裏面への表示・更衣室等への掲示・メール配信・SharePoint 掲載）を行った。これまでに7件の相談が寄せられている。

■院内相談窓口の設置

職員の心の健康をサポートし、メンタルヘルス不調の予防・早期発見・早期対応することを目的として院内相談窓口を設置している。職員の心の健康維持と職場環境の改善、メンタルヘルス不調の他、仕事上の不安や悩みを相談できる窓口として、現在4名の相談員が院内で活動している。令和6年度には相談を受けたときの対応方法や手順の見直しを実施した。また、院内相談窓口の存在を広く職員に知らせるため、新たにポスターを作成し院内への周知（更衣室等への掲示・メール配信・SharePoint 掲載）を行った。引き続き職員が気兼ねなく相談できる体制づくりを図っていく。

■医療従事者の働き方改革

医師の働き方改革の推進および医療従事者の負担軽減ならびに労働環境の改善策の審議については、本来であれば独立した部門で審議する必要があるが、職員の業務負担軽減の観点から部門（委員会）は増やさず安全衛生委員会の中で審議していくこととした。

令和6年度も前年度に引き続き医師のみならず看護師やコメディカル等を含めた医療従事者の負担軽減策を計画し、実施および評価（中間・期末）を行った。

医師の負担軽減は、他職種へのタスクシフトを中心として計画を立案した。医師の当直業務については、令和5年8月に申請内容の見直しと勤務実態に合わせた許可申請を行い許可を得た。同時に勤務シフト制を導入し夕方診療業務をシフト勤務へと移行している。

看護師の負担軽減においては、主に長時間労働や働きやすいユニフォームの導入を検討、他職種へのタスクシフトについては次年度以降も引き続き検討していく。

令和6年度の電子カルテ導入により、新たな業務への対応や慣れない入力作業等が職員の負担増となっている。引き続き、それぞれの職種や職場の問題点・改善点を明確にし、業務の負担軽減や効率化を図っていく。

病院祭企画委員会

1 目的

本会は、毎年実施される病院祭の計画について審議し、決定することを目的とする

2 活動内容または審議事項

本会は、目的を達成するために、次に掲げる事項について審議する

- (1) 病院祭の実施日・日程・内容・渉外に関する事
- (2) 病院祭の費用に関する事
- (3) その他病院祭に関わる必要な事項

3 活動報告

(1) 年間活動

開催日	主な議題
令和6年4月26日	委員会規約改定、副委員長選出、開催日決定、企画相談
令和6年5月16日	開催回数決定、企画煮詰め
令和6年6月13日	招待状送付先決定、企画決定
令和6年7月11日	テーマ絞込、記念品配布決定、病院祭だより発刊決定
令和6年8月8日	テーマ決定、広報活動決済報告、会場配置決定
令和6年9月13日	職員参加者・弁当伺い、日赤ほっとチャンネル
令和6年10月4日	全体会に向けて
令和6年10月7日	全体会
令和6年10月11日	直前最終報告
令和6年10月11日	前日準備
令和6年10月12日	病院祭当日
令和6年10月17日	報告書提出

(2) 令和6年度日赤健康まつり

日 時 令和6年10月12日(土) 10:00~15:00

テ ー マ 地域に支えられて75周年~これからも共に~

来場者数 388名

臨床検査適正化検討委員会

1 目的

- (1) 当院で行われる臨床検査の適正化を図るため、精度の向上と併せて関係職員の学術・技能の研鑽をおこなう

2 活動内容または審議事項

- (1) 定期的実施している内部の精度管理の実態の調査及び検討
- (2) 参加した外部の精度管理事業の結果の検討
- (3) 学術・技能の向上を目的とした職員の教育

3 活動報告

開催日	主な議題
令和7年3月28日	外部精度管理結果報告、来年度の体制計画

透析機器安全管理委員会

1 目的

本委員会は透析機器の安全管理及び透析液の清浄化を徹底することにより患者様に安全な医療を提供することを目的とする。(透析機器安全管理委員会規約第2条)

2 活動内容または審議事項

- (1) 血液浄化療法の知識の啓蒙と技術の習得
- (2) 透析機器の保守管理の計画と実施
- (3) 透析液の清浄化の測定と管理計画と実施
- (4) その他医療機器に対する安全対策

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月26日	3月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、RO装置のカーボンフィルター交換実施、今年度の保守点検年間ス

	ケジュールの提出
令和6年5月27日	4月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、RO装置のプレフィルター交換実施、電力法定点検実施
令和6年6月28日	5月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告
令和6年7月19日	6月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、6・7月で輸液ポンプの定期点検実施中
令和6年8月26日	7月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、6・7・8月にかけて輸液ポンプの定期点検を実施、7月にRO装置のカーボンフィルター交換実施、7月にシリンジポンプ全台を代理店が定期点検を実施、7月に松川町の水質検査結果を確認、8月にコンソール・AHI・BHIのカットール交換を実施、8月に透析用水の透析液水質基準12項目を中部公衆医学研究所に依頼
令和6年9月24日	8月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、8月26日に行った透析液水質基準12項目の結果問題なし、9月10日に関東厚生局適時調査の医療機器安全管理部門は問題なく終了
令和6年10月21日	9月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、9月26日・10月10日にコンソール・AHI・BHI・DAB・RO装置のメーカー点検を実施、9月26日にOPE室スタッフ向け麻酔器勉強会を実施、9月30日にRO装置のUVランプとエアフィルターを交換
令和6年11月29日	10月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、11月11日に保健所の立入検査があり医療機器管理の分野は問題なし、9・10・11月でコンソール前期の定期点検を実施、11月14日にRO装置とDABのサンプルポート交換、11月27日にRO装置のカーボンフィルターを交換
令和6年12月20日	11月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、12月3日にRO装置のプレフィルター交換、12月3日にOPE室スタッフ向け気化器勉強会を実施
令和7年1月24日	12月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、1月10日に麻酔器の定期点検を実施
令和7年2月28日	1月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報告、2月にAHI・BHI・コンソールのカットール交換、2月に日本透析医学会統計調査のデータを送信、2月4日に輸液ポンプ3台・シリンジポンプ1台が納入
令和7年3月24日	2月の軟水・残留塩素・生菌・エンドトキシン検査結果の報

	告、3月11日に AHI・BHI・RO 装置・DAB・コンソールのメーカー点検を実施、3月14日に OPE 室スタッフ向けシリンジポンプ勉強会を実施、2・3月で呼吸器の定期点検を実施
--	---------------------------------------------------------------------------------------------

DPC コーディング委員会

1 目的

下伊那赤十字病院における入院診療録の適切なコーディングを目的とする。

2 活動内容または審議事項

- (1) 標準的な診断及び治療方針の周知に関する事項
- (2) 適切な診断を含めた診断群分類の決定に関する事項
- (3) その他入院診療録のコーディングに関する事項

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年7月	様式1の変更点について
令和7年2月	サマリ等の達成状況について

摂食嚥下委員会

1 目的

院内外における摂食嚥下障害者に対して専門的知見から診断・評価・治療を行い、患者の入院または療養または在宅における健康で安全な食と生活を支援することを目的とする

2 活動内容または審議事項

- (1) 当委員会内は「摂食嚥下チーム」と「のみこみの外来チーム」を有し、委員がその職務を兼ねる

ア 摂食嚥下チーム

(ア) 活動内容：入院及び入所における摂食嚥下障害者への専門的対応及び取組み
イ のみこみの外来チーム（摂食嚥下専門外来）

(ア) 活動内容：外来における摂食嚥下障害者への診察・治療（毎週火曜日）

(2) 当委員会の主催で院内外における摂食嚥下障害の研修等企画運営を行う

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月17日	・回診について・算定実績について ・研修会について
令和6年5月15日	・回診について・算定実績について
令和6年6月19日	・回診について・算定実績について
令和6年7月17日	・回診について・算定実績について
令和6年8月21日	・回診について・算定実績について
令和6年9月18日	・回診について・算定実績について
令和6年10月23日	・回診について・算定実績について ・検査の説明と同意書について
令和6年11月20日	・回診について・算定実績について
令和6年12月18日	・回診について・算定実績について ・嚥下外来と嚥下回診の運用についての見直し
令和7年1月15日	・回診について・算定実績について
令和7年2月19日	・回診について・算定実績について
令和7年3月19日	・回診について・算定実績について ・令和7年度 摂食嚥下委員会委員構成について ・嚥下外来 採血セットの検討について ・第60回日赤医学総会演題発表についての報告

診療体制検討委員会

1 目的

外来、病棟、健診各部門の円滑な運営を図ること

2 活動内容または審議事項

- (1) 外来、病棟、健診部門の運営における問題点。
- (2) 外来、病棟、健診部門の接遇に関すること。
- (3) その他、外来、病棟、健診部門の診療体制に関わる全てのこと。

3 活動報告

開催日	主な議題
令和6年4月8日	医師週間スケジュールの確認
令和6年8月19日	インフルエンザ・コロナ予防接種について
令和7年2月10日	外科・整形外科の診察体制について

医療放射線安全管理委員会

1 目的

医療法施行規則の一部を改正する省令(平成31年厚生労働省令第21号)に基づき、下伊那赤十字病院(以下「当院」という。)における診療用放射線に係る安全管理体制に関する事項について定め、診療用放射線の安全で有効な利用を確保すること。

2 活動内容または審議事項

- (1) 1年に1回以上の委員会開催
- (2) 1年間の放射線被ばくに関する事故、事案などの報告
- (3) 緊急な放射線被ばく事故など発生した時は、委員長の指示のもと緊急招集
- (4) 被ばく相談員による年間の相談実績の報告

3 活動報告

(1) 年間活動

開催日	主な議題
令和7年2月4日	今年度の放射線被ばくに関する事案、線量管理の報告

(2) 放射線被ばく相談実績

令和6年度 17件

電子カルテ導入委員会

1 目的

当院における電子カルテシステムの円滑かつ効果的な導入と定着を実現すること。

2 活動内容または審議事項

(1) 導入準備

- ア. 業者の選考（仕様書の作成、業者の絞り込み、選定基準の検討等）
- イ. 院内への周知活動（キックオフミーティング、ニュースレター等）
- ウ. 課題の抽出、運用方法の決定（ワーキンググループ、マニュアル作成等）
- エ. 教育・訓練の実施（操作訓練、稼働リハーサル等）

(2) 運用開始後の対応

- ア. 課題の抽出と改善策の実施

3 活動報告

開催日	主な議題
4月 5日	稼働までのスケジュール確認
4月11日	キックオフミーティング
5月10日	ワーキンググループ実施状況確認
6月 7日	ワーキンググループ実施状況確認、他院視察予定について
6月17日	第1回下伊那厚生病院視察
6月18日	第2回下伊那厚生病院視察
6月21日	第3回下伊那厚生病院視察
7月 5日	ワーキンググループ実施状況確認、配線工事について
8月 2日	稼働リハーサルの実施予定について
8月29日	第1回稼働リハーサル
9月 6日	稼働切替スケジュール確認、各部署の端末配置確認
9月12日	第2回稼働リハーサル
9月24日	電子カルテ稼働開始
10月11日	稼働以降に生じた課題の確認

11月 1日	委員会の名称変更について
12月 6日	運用上の課題の共有
1月10日	再来受付機の位置の変更について
2月 7日	課題の確認、4月以降の整形外科外来の端末配置について
3月 7日	4月からの患者受付方法の変更について

4 委員名簿

委員長	医局	森下 浩	副院長 経営推進会議
副委員長	看護部	牧内 明美	看護部長 経営推進会議
〃	医局	栗原 章浩	院長補佐 経営推進会議
委員	医局	岩波 利和	医局 小児科部長
〃	医局	武井 隼人	医局 第一内科副部長
〃	看護部	矢部 茂美	電子カルテ導入担当師長
〃	看護部	宇佐美 雄太	一般病棟
〃	看護部	伊藤 由紀	療養病棟、介護医療院
〃	看護部	荒井 美和子	透析室 外来係長
〃	看護部	伊藤 俊士	外来看護師
〃	看護部	細江 久子	訪問看護ステーション師長
〃	看護部	田口 志保	看護部師長 (医療安全)
〃	薬剤部	熊谷 幸雄	薬剤部課長
〃	診療技術部	村澤 俊幸	臨床検査課係長
〃	診療技術部	瓜尾 昌恵	リハビリテーション技術課長
〃	診療技術部	武田 貞弘	放射線科課長
〃	診療技術部	青島 貴子	栄養課長
〃	健診部	湯澤 一志	健診部課長
〃	医療社会事業部	佐治 香織	社会課係長
〃	事務部	矢崎 貴義	会計課長
〃	事務部	唐澤 和義	医事課係長

事務局	事務部	古島 俊哉	医事課長兼総務課長
-----	-----	-------	-----------

5 今後について

令和7年度より医療情報システム運用委員会と名称を改め、電子カルテ関連に留まらない院内の情報システム全般の安全かつ合理的な運用を図るべく活動を行うこととなった。

個人情報管理委員会

1 目的

個人情報保護法に基づき、病院が保有する個人情報の安全管理に備える。

2 活動内容または審議事項

- (1) 個人情報の安全管理に必要な事項を調査審議する。
- (2) 適時改善状況の確認をする。
- (3) 個人データの適正な取扱いに関する注意喚起をする。

3 活動報告

(1) 研修

「個人情報保護法の概要」(動画上映：46分)

- ①日 程 令和6年12月6日(金)・11日(水)
各日9:00~17:15
- ②会 場 防災センター

(2) 個人情報にかかる自己点検及び特定個人情報自己点検の実施

日 程 令和6年11月11日(月)~20日(水)

(3) 個人情報の安全管理マニュアル(第10版)の整備

改訂日 令和6年4月1日

プロジェクトチーム

介護医療院運営プロジェクトチーム

1 目的

介護医療院の運営に関することについて検討し、業務の効率化とサービスの質の向上を図り、職員の負担軽減及び利用者の安全と満足度の向上を目的とする。

2 活動内容または審議事項

- (1) 増収に向けた施策の検討
- (2) 介護の質を上げる取り組み
- (3) L I F Eフィードバックデータに基づく業務改善と評価
- (4) 生産性向上に関する課題の把握及び対策の検討
- (5) 生産性向上を図るための職員研修
- (6) 利用者の安全確保とサービスの質の向上に関する取り組み
- (7) 安心・安全な職場環境の整備
- (8) 職員の負担の軽減及び勤務状況への配慮
- (9) 介護機器の定期的な点検
- (10) その他、介護医療院の運営に関すること

3 活動報告

開催日	主な議題
令和7年1月31日	委員会の設置目的、規約、メンバーの確認
令和7年2月25日	WEBセミナー生産性向上について

統計編

患者統計

(1) 延べ外来患者数

外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均患者数
内 科	1,893	1,752	1,702	1,808	1,982	1,656	2,014	1,911	1,951	1,772	1,530	1,583	21,554	3.25 31.96 0.87
小児科	608	699	643	764	513	595	820	1,138	1,023	753	586	637	8,779	
外 科	346	280	317	391	405	372	411	420	406	391	342	388	4,469	
整形外科	777	728	724	750	682	578	488	465	462	468	430	496	7,048	
皮膚科	129	154	147	189	168	146	162	146	145	133	118	132	1,769	
産婦人科	57	61	57	48	45	53	54	39	58	44	41	71	628	
眼 科	64	70	74	82	72	65	69	63	62	59	53	61	794	
耳鼻咽喉科	739	661	584	676	496	550	592	593	687	677	715	828	7,798	
精神科	17	16	19	20	15	19	16	18	19	15	19	19	212	
透 析	234	228	212	206	199	184	222	213	204	220	197	214	2,533	
合計	4,864	4,649	4,479	4,934	4,577	4,218	4,848	5,006	5,017	4,532	4,031	4,429	55,584	
診療実日数	21	20	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	242	
輪番日数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	

(2) 延べ入院患者数

入院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均患者数	
一般	内科	793	710	573	744	729	690	597	509	723	757	892	837	8,554	37.27 4.31
	小児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外科	167	114	163	254	241	285	191	205	298	270	226	403	2,817	
	整形	148	29	110	130	82	155	251	225	201	125	136	158	1,750	
	耳鼻	30	107	34	39	40	62	39	34	26	10	52	10	483	
計	1,138	960	880	1,167	1,092	1,192	1,078	973	1,248	1,162	1,306	1,408	13,604		
療養	医療	141	141	156	110	143	106	114	103	133	138	128	159	1,572	
	合計	1,279	1,101	1,036	1,277	1,235	1,298	1,192	1,076	1,381	1,300	1,434	1,567	15,176	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		

(3) 月別新外来患者数

外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均患者数
内 科	154	146	109	179	216	127	150	150	177	222	126	118	1,874	0.44 7.91 0.02
小児科	234	323	264	374	256	266	303	332	346	416	283	310	3,707	
外 科	61	53	69	93	88	78	82	76	84	101	81	74	940	
整形外科	128	128	116	123	105	76	33	33	28	35	22	63	890	
皮膚科	15	23	34	34	32	28	24	29	20	18	23	12	292	
産婦人科	12	12	14	13	9	10	16	6	18	11	8	11	140	
眼 科	4	11	13	17	15	6	4	5	9	3	8	12	107	
耳鼻咽喉科	187	150	153	127	136	129	130	134	148	174	211	250	1,929	
精神科	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4	
透 析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	795	846	773	960	857	720	743	766	831	980	762	850	9,883	
診療実日数	21	20	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	242	
輪番日数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	

(4) 月別新入院患者数

外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均患者数	
一般	内科	42	25	39	34	36	26	26	31	38	29	31	28	385	0.16
	外科	30	14	26	35	25	32	20	28	38	32	33	38	351	
	整形外科	3	2	3	3	3	4	6	3	2	3	1	4	37	
	耳鼻咽喉科	5	5	0	6	6	3	5	4	2	0	3	0	39	
療養	医療	4	4	3	4	3	3	4	3	5	1	4	2	40	
	合計	84	50	71	82	73	68	61	69	85	65	72	72	852	
診療実日数	21	20	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	242		
輪番日数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2		

疾病大分類別・診療科別・病名数（2024/04/01～2025/03/31）

		総数	構成比 (%)	内科	外科	整形外	耳鼻科
総数	計	797	100.0	387	335	39	36
	男	423	53.1	198	198	9	18
	女	374	46.9	189	137	30	18
構成比 (%)	計	100.0		48.6	42.0	4.9	4.5
	男	100.0		46.8	46.8	2.1	4.3
	女	100.0		50.5	36.6	8.0	4.8
I 感染症及び寄生虫症	計	49	6.1	32	15	—	2
	男	15	3.5	13	2	—	—
	女	34	9.1	19	13	—	2
II 新生物	計	35	4.4	12	21	—	2
	男	19	4.5	4	14	—	1
	女	16	4.3	8	7	—	1
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	2	0.5	2	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—

IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	57	7.2	49	5	—	3
	男	25	5.9	22	2	—	1
	女	32	8.6	27	3	—	2
V 精神及び行動の障害	計	6	0.8	6	—	—	—
	男	3	0.7	3	—	—	—
	女	3	0.8	3	—	—	—
VI 神経系の疾患	計	20	2.5	14	2	1	3
	男	13	3.1	9	1	1	2
	女	7	1.9	5	1	—	1
VII 眼及び付属器の疾患	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	7	0.9	1	—	—	6
	男	4	0.9	1	—	—	3
	女	3	0.8	—	—	—	3
IX 循環器系の疾患	計	70	8.8	51	13	1	5

	男	42	9.9	29	9	—	4
	女	28	7.5	22	4	1	1
X 呼吸器系の疾患	計	83	10.4	75	1	—	7
	男	46	10.9	41	—	—	5
	女	37	9.9	34	1	—	2
X I 消化器系の疾患	計	267	33.5	37	227	—	3
	男	168	39.7	20	147	—	1
	女	99	26.5	17	80	—	2
II 皮膚及び皮下組織の疾患	計	13	1.6	3	8	—	2
	男	7	1.7	2	4	—	1
	女	6	1.6	1	4	—	1
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	15	1.9	9	3	3	—
	男	7	1.7	5	2	—	—
	女	8	2.1	4	1	3	—
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	計	43	5.4	34	9	—	—
	男	18	4.3	13	5	—	—

	女	25	6.7	21	4	—	—
X 妊娠、分娩及び産じ V よく<褥>	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
X 周産期に発生した病 VI 態	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
X 先天奇形、変形及び VII 染色体異常	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.2	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
X 症状、徴候及び異常 VIII 臨床所見・異常検査 所見で他に分類され ないもの	計	28	3.5	20	5	—	3
	男	10	2.4	9	1	—	—
	女	18	4.8	11	4	—	3
X 損傷、中毒及びその IX 他の外因の影響	計	96	12.0	37	25	34	—
	男	43	10.2	24	11	8	—
	女	53	14.2	13	14	26	—

X X X 傷病及び死亡の外因	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	3	0.4	2	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.8	2	1	-	-
X X II 特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

損益計算書

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
材料費	173,279	入院診療収益	554,182
給与費	749,230	室料差額収益	5,614
委託費	146,744	外来診療収益	421,558
設備関係費	166,880	保健予防活動収益	208,007
(再掲)減価償却費	95,954	その他の医業収益	26,086
研究研修費	3,281	保険等査定減	-4,786
経費	83,081		
医業費用	1,322,494	医業収益	1,210,663
医業外費用	3,615	医業外収益	162,612
医療奉仕費用	885	医療社会事業収益	191
付帯事業費用	204,050	付帯事業収益	208,468
特別損失	3,725	特別利益	0
法人税等	0		
当期純利益	47,164		
合計	1,581,934	合計	1,581,934

資本的収入及び支出

(単位:千円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
固定負債	39,330	固定資産	164,664
資産売却収入	0	借入金等償還	3,126
その他資本収入	128,459		
合計	167,789	合計	167,789

労働災害事故状況

4.労働災害事故状況

災害区分	医師	医療技術職員	看護職員	事務職員	業務員	福祉職員	計
業務災害	針刺	0	0	1	0	0	1
	その他	0	0	3	0	0	3
	新型コロナ	1	0	2	0	0	3
通勤災害	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	7	0	0	0	7

業務編

診療部門

内科・総合診療科・呼吸器内科

1 スタッフ

常勤医 3名

非常勤医 3名

2 診療状況

外来・入院ともに地域のかかりつけ機能を担う

- ・ 高血圧、糖尿病など生活習慣病、呼吸器内科系疾患を中心に幅広い疾患に対応
- ・ 訪問診療
- ・ のみこみ外来
- ・ 内視鏡検査

小児科

1 スタッフ

常勤医 1名

2 診療状況

- ・ 感染症やアレルギー疾患を中心に診療
- ・ 予防接種・健診を継続的に実施し、地域の小児保健に貢献

外科・消化器外科

1 スタッフ

常勤医 2名

非常勤医 1名

2 診療状況

- ・ 一般的な外科疾患のほか、消化器疾患を中心に手術・内視鏡治療を実施

産婦人科

1 スタッフ

非常勤医 5名

2 診療状況

- ・外来診療（週1回）
- ・婦人科健診

整形外科

1 スタッフ

常勤医 1名

2 診療状況

- ・骨折や捻挫等の外傷、脊椎疾患、関節疾患、骨粗鬆症等の治療
- ・小手術
- ・リハビリ部門と連携し、早期社会復帰を支援
- ・股関節脱臼検査

皮膚科

1 スタッフ

非常勤医 1名

2 診療状況

- ・外来診療（週1回）
アトピー性皮膚炎、皮膚感染症等を中心に診療

眼科

1 スタッフ

非常勤医 1名

2 診療状況

- ・外来診療（週1回）
診察、検査、薬物療法

耳鼻咽喉科

1 スタッフ

常勤医 1名

非常勤医 1名

2 診療状況

- ・専門外来（めまい、補聴器、睡眠時無呼吸症候群の CPAP 導入）、のみこみ外来。
- ・地域の小児保健に貢献

精神科・心療内科

1 スタッフ

非常勤医 1名

2 診療状況

- ・うつ病、不安障害、認知症等の診療を実施

診療担当医表

下伊那赤十字病院 外来診療担当表

2024年4月1日現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 総合診療科 呼吸器内科	午前	栗原・武井	細田・武井・網野	栗原・細田	網野・武井・伊藤	栗原・伊藤
	午後	武井	栗原	伊藤	武井	
	夕方診			交替制(第1~4週)		
	呼吸器					細田
◎午後:予約制 ◎夕方診、呼吸器内科:完全予約制						
小児科	午前	岩波	岩波	岩波	岩波	岩波
	午後		岩波			岩波
	夕方診			岩波		
	予約	予防接種		予防接種		
・午後:14:00~16:30まで ・夕方診:16:00~18:30まで ◎予防接種:予約制、14:30~15:30まで						
外科 消化器外科	一般	森下	柘植	柘植	森下	白子
	消化器					森下(第2・4週)
◆金曜日のみ診療9時開始 ◎消化器外科:13:30~15:30まで						
整形外科		柴田	柴田	柴田		柴田
◆月曜日のみ診療10時開始 ★水曜日のみ受付10:30まで						
耳鼻いんこう科 専門外来 のみこみの外来	午前	横田	岩下	横田	岩下	横田(第1・3~5週)
	午後					横田(第1・3~5週)
	夕方診			横田	横田	
	専門のみこみ	めまい・横田	補聴器・横田		睡眠時無呼吸・横田	
◎午後:予約制(当日予約も可)、14:30~16:30まで ◎夕方診:予約制(当日予約も可)、17:00~18:30まで ◎めまい、睡眠時無呼吸:予約制、14:30~16:30まで ◎補聴器:完全予約制、14:00~16:30まで ◎のみこみの外来:完全予約制						
産婦人科		山田				
皮膚科				菅谷		
眼科				山梨大(交替)		
★受付10:30まで						
精神科・心療内科						木下(第2週のみ)
★受付13:00~13:30まで						

薬剤部門

薬剤課

1 業務内容

院内処方調剤	外来患者に関しては基本的に院外処方としていますが、労災、交通事故等、外来院内調剤と入院患者の調剤全般を行う。その際、用法、用量、相互作用等をチェックし、疑義照会がある場合は処方医に確認を取る。
注射薬調剤	注射処方箋により点滴、注射薬の準備を行う。投与方法、投与速度、配合変化等チェックを行う。高カロリー輸液、抗がん剤の混注は薬剤部の安全キャビネット、クリーンベンチにて薬剤師が混注を行う。
服薬指導	入院中の患者様のベッドサイドに伺い、服用する薬の効果、服用方法、副作用、保管上の注意事項など情報提供するとともに、患者様の疑問や不安に答える。また自己注射導入患者への手技指導等も行う。
薬品管理業務	院内採用医薬品の管理を行う。医業に支障のないように適切な貯法（温度管理）、適切な在庫設定を行う。院内には麻薬、向精神薬も在庫するため、麻薬・向精神薬取扱いマニュアルに基づいて適切に管理を行う。
医薬品情報管理	院内の採用薬品の情報だけでなく、全ての医薬品に関する情報を製薬会社、書籍、インターネット等から入手し、必要に応じて病院内に情報発信を行う。医師をはじめとする医療スタッフからの問い合わせにも対応している。
持参薬鑑別業務	新規に入院される患者様が持参した現在の服用薬の内容を鑑別する。特に他施設にかかっていた患者様の服用状況は重要な情報となる。服用内容等は医師、看護師と共有し、必要に応じて内服を継続する。

2 業務統計

令和6年度実績

	枚数
入院処方箋	6681 枚
入院注射箋	7133 枚
院外処方箋	40255 枚

	件数
薬剤管理指導	394 件
持参薬鑑別	305 件

3 職員紹介

薬剤師 3名 事務1名（トーカー派遣社員）

健診部門

健診課

1 業務状況

- (1) 人間ドック（日帰り、一泊）、生活習慣病予防健診、特定健診、定期健診、婦人科検診（子宮頸がん検診）を実施。
- (2) オプション検査
CT検査（頭部・胸部）、内臓脂肪CT、PSA検査、TSH検査、CEA・CA19-9・AFP検査、甲状腺検査、血液型判定、腹部エコー、頸動脈エコー、骨密度測定、動脈硬化度測定、子宮頸がん検査、睡眠時無呼吸スクリーニング検査、眼底検査、呼吸機能検査、HbA1c、空腹時インスリン、マンモグラフィー
- (3) 特定保健指導（協会けんぽ、日赤けんぽ）の実施

2 業務統計

(1) 実績

①令和6年度 健診実績

		件数	小計	合計
人間ドッグ	一泊	18		
	日帰り	1374	1392	
協会健保	付加健診	431		
	一般健診	1708	2139	
労安法		262		
協会けんぽ・日赤健保	保健指導	300		
受診券(子宮・乳房)		54	616	4147
婦人科検診検討検討 (団体契約)	子宮	622		
	乳房	651	1273	1273
特定健診	松川町	841		
	その他の特定健診	71	891	891
				6311

②特定保健指導 件数

		協会けんぽ	日赤けんぽ
初回面談	積極的支援	73	2
	動機付け支援	80	7

看護部門

看護部

1 看護部概要

◆看護部職員：91名

- ・保健師：6名
- ・看護師：68名
- ・准看護師：2名
- ・介護福祉士：4名
- ・看護補助者（事務含む）：9名
- ・その他：2名

◆看護部管理者

- ・看護部長1名、看護副部長1名、看護師長6名、看護係長4名、介護係長1名、看護主任（院内呼称）3名、介護主任（院内呼称）1名

◆認定看護師

- ・認知症看護認定看護師：1名
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師：1名
- ・感染管理認定看護師：2名
- ・集中ケア認定看護師：1名
- ・認定看護管理者：1名

◆特定行為研修修了者：2名

- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ・感染管理に係る薬剤投与関連
- ・創傷管理関連
- ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連

2 看護部理念

私たちは、人道の赤十字精神に基づいて、患者さま一人ひとりを尊重し、優しさ・思いやりのある看護を提供します。

3 令和6年度看護部目標

1. 地域連携を強化した安心で安全な看護ケアの提供

- 1) 地域連携体制・多職種連携を強化する
- 2) 患者・利用者を尊重した、安心安全なケアを提供する
2. 一人ひとりがやりがいを持ち、働きやすい職場をつくる
 - 1) 一人ひとりが将来を見据えたキャリアアップができる
 - 2) 働き続けたい職場環境をつくる

4 各会議・委員会

◆特定会議

- ・看護部運営会議
- ・看護師長会議
- ・責任者会議
- ・係長会

◆通常委員会・会議

- ・看護部教育委員会
- ・看護部安全対策委員会
- ・看護部継続看護委員会
- ・認定看護師会
- ・介護福祉士、看護補助者会

◆チーム会

- ・認知症チーム会
- ・看護の日、職場体験チーム会

◆その他

- ・各部署会 ・自治会

5 令和6年度の取り組みと成果

4月新入職員2名（うち本社看護部人事交流制度による派遣者1名）を迎え、新年度をスタートした。中途採用者（看護師）は9月2名、2月1名あった。

6月に看護部取り組み説明会と研修報告会（計5回）を開催し、今年度の目標や取り組み内容を看護職員全体で共有した。研修報告会では、長期研修や令和6年1月に発生した能登半島地震に日赤救護班派遣の他、病院支援で看護師2名、1.5次避難所支援で介護福祉士1名を派遣し、その活動報告を行った。

地域連携を強化した安心で安全な看護ケアの提供を行うために看護師長会では、多

職種・地域連携係、人材育成係を組織し、小集団活動を推進した。多職種連携では、各部門・部署から看護部活動に対しての意見を収集し、待遇向上や病棟の整理整頓の取り組みを実施したこと、看護部からの意見で多職種と話し合う機会を得ることができ、患者・利用者への看護サービスの充実に繋がった。人材育成では看護補助者研修の実施を計画的に実施するとともに、新人看護職員の離職率低下に向けて、新人教育体制を見直し、再構築に向けての検討ができた。加えて、当院看護部としてどのような看護師を育てたいのかを再考し、看護部教育基準、教育理念、教育目標、キャリア育成のための支援体制を策定、明文化することができた。

9月の電子カルテ導入に向け、諏訪赤十字病院からシステム担当の看護師長を招聘し、看護師長会では電子カルテ導入係を組織し小集団活動を展開した。電カル導入を機に、各部門・部署の業務内容・フローを再確認し、必要な基準・手順を作成することで、業務の可視化を進めた。

一人ひとりがやりがいを持ち、働きやすい職場をつくるため、上司による勤務評定制度目標管理面接を年3回実施、キャリアアップの支援を行った。赤十字施設のキャリア開発ラダー制度を活用して、レベルに応じた研修の企画・運営と、院外研修の案内等を行い、ラダー申請に必要な研修が受講できる環境を提供した。今年度は実践者ラダーⅠを1名、実践者ラダーⅡを1名認定することができた。

新人指導ではプリセプター制を実施している。プリセプターとプリセプティの1年間の頑張りを看護部全体で誇る「プリセプター・プリセプティ卒業式」を開催した。プリセプターからプリセプティへのメッセージ、プリセプティの次年度の目標などを共有した。



介護医療院ではスタッフの働き方改革の医療DXの取り組みとして「眠りSCAN」を導入し、スタッフの働き方の変化を可視化するためのタイムスタディを実施した。導入前のデータを取ることはできたが、導入後のデータを取ることはできなかった。

め、次年度に取り組む。

6 教育関連

【令和6年度キャリア開発ラダー認定状況】

実践者ラダー レベル	人数	管理ラダー レベル	人数
IV・V	0	IV	0
III	2	III	0
II	5	II	1
I	16	I	0
合計	23	合計	1

【院内研修】

認知症事例検討会	47
一般病棟勉強会「右半結腸切除について」	23
BLS	39
家族関係調整	4
看護部取り組み説明会&研修報告会	60
新人看護職員指導教育体制変更説明会	69

【院外研修】

◆長野県看護協会主催研修

新人看護職員研修新人訪問看護師コース	1
ジェネラリスト研修	47

看護教育者研修	2
スペシャリスト研修	3
看護管理者研修	
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	1
職能集会	3
支部研修	10
医療安全管理者養成研修（日看協）	1

◆その他

看護実践関連	17
看護管理・マネジメント関連	37
人材育成	31
医療安全	4
重症度、医療・看護必要度	2
学会・学術集会	4

◆赤十字関連

救急法救急員	3
救護員としての赤十字看護師研修	3

救護員フォローアップ	2
こころのケア	5
階層別研修（長野県支部）	5
管理者研修	8
指導員研修会	8
その他	10

7 救護実績

高校野球春季北信越大会長野県予選	1
------------------	---

8 講師依頼実績

救護関連	8
看護学校講義	5
出前講座	9
高校生性教育	3
松川町介護予防事業コミュニティカフェ	26

9 看護実習受け入れ実績

飯田短期大学	基礎看護学 I A・B	4
	基礎看護学 II	4

飯田短期大学	地域・在宅看護論	5
	統合	3
長野県看護大学	地域・在宅看護学	18

10 今後の目標

今年度は教育体制の基準および、新人看護職員の指導教育体制を見直すことができた。看護・介護がその役割を果たすために、一人ひとりの能力開発を継続的に行う。その手段として、勤務評定制度、キャリア開発ラダーを活用し、組織の一員である看護職・介護職が組織の目標達成に向け、専門職としての責務を遂行するために必要な能力の獲得・維持・向上とともに、一人ひとりの教育ニーズ、学習ニーズを充足することへの支援を行っていく。その中でも、新人看護職員の指導・教育体制は大きく変更する。全員で関わることを軸に「みんなで育て、一緒に育つ」ことを共通認識し、現場の声を丁寧に聞きながら新人教育の土台づくりを行う。

働き方の再考として二交代制勤務の推進と三交代制勤務での「日勤－深夜勤」の圧縮勤務を減らしていくことに取り組む。健康で長く働き続けられ、仕事とプライベートの双方の充実を図る。

来年度の看護部目標には、病院経営を意識した看護活動の実践をあげる。物品管理、時間管理の意識を高めていく。三交代制勤務で発生する夜勤手当の重複が二交代制勤務者を増やすことで減少させ、経費削減に貢献する。

外来・病棟

外来・透析

1 業務状況

(外来)

1) 医療スタッフの状況

医師常勤 8 名・非常勤 12 名、看護師常勤 7 名・非常勤 5 名、医師事務作業補助者 1 名

2) 感染対策の実施状況

昨年度まで実施していたコロナ感染者対策としての院外検査を令和6年3月末で廃止した。感染力の高さを考慮し、受診前のスクリーニング検査について一部変更、受診から会計までの動線や検査結果前の待機場所を再検討した。

職員は標準予防策を徹底し、状況に応じて感染経路別予防策を実施。患者や付き添い者には手指消毒とマスク着用を依頼、COVID-19感染者は別室診察とし、安全な診療環境の維持に努めた。

また、看護師と外来事務スタッフの手指衛生チェックと手指消毒剤の使用量調査を実施し、現状把握と啓蒙活動を行った。

3) 今年度の業務振り返りと今後の課題

(1) 電子カルテの導入

令和6年9月24日より電子カルテを導入した。導入にあたり、医師事務作業補助者を1名配置した。導入後、診療科により差があるが、外来待ち時間が延長した。受付から診察前の問診、診察から会計までの動線を整理し、業務フローを見直し、診療時間の短縮に取り組んだ。

今後の課題として、診療体制の効率化を図り、患者の待ち時間の更なる短縮化や、医療スタッフの負担軽減に努めることが必要である。その為に、電子カルテ運用を円滑化し、業務連携の強化を進めていく。

また、高齢者が多いことを考慮し、わかりやすい説明や受付対応の充実を図り、安心して診療を受けられる環境づくりに取り組んでいく。

(2) インフルエンザ予約体制の見直しとLINE予約システムへの移行

インフルエンザの予約体制を見直し、従来の予約方法からLINEを活用した予約システムへ移行した。導入により、以下のような利便性が向上し、患者の負担軽減に繋がった。

・24時間対応のオンライン予約を導入し、診療時間外でも予約が可能になった。

・受付業務の負担軽減と予約の効率化を実現し、混雑緩和につなげた。

・予約確認の自動通知機能を活用し、患者への案内がスムーズになった。

新システムでの対応が難しい患者は、従来の電話予約枠で引き続き対応している。

今後の課題として、システム運用の安定化や高齢患者向けの予約支援策を強化し、よりスムーズな診療体制を目指していく。

(透析)

1) 患者数の推移

令和6年度の透析患者数は、4月当初21名。その後、他院からの紹介で3名の転入があった。しかし、8名が亡くなられ、1名が転院した為、3月末時点での患者数は17名となった。

2) 医療スタッフの状況

医師：常勤1名 非常勤2名 ・看護師 4名 ・臨床工学技士 3名

3) 感染対策の実施状況

透析室では、新型コロナウイルス感染発生当初、完全な時間・空間隔離を実施し、最低3回の隔離透析で感染拡大の防止を行った。しかし、スタッフへの長時間勤務による負担が課題であった。

感染症分類が5類へ移行した後は、透析医会のガイドラインに基づき、ベッドコントロールやカーテン・パーテーションによる隔離を活用し、非感染者との距離を確保しつつ、入室時間を早めるなど、効率的な対応が可能となった。

4) 今年度の業務振り返り

以前は透析治療を受けることが決定してから、透析室の案内を進めていた。また、医師から「透析治療の話をしているが患者が決断できず治療が進まない。専門医への紹介のタイミングが分からない。」といった相談があった。その為今年度は、早期の段階から患者と関わる機会を増やし、透析導入に向けた準備を行えるようにした。具体的な取り組みとして、医師または外来看護師から患者の相談を受け、外来受診時に透析室スタッフが同席し、受診の度に継続的に関り、透析の説明や透析室の案内、不安に思っている事など話を聞いた。また、専門医への紹介のタイミングについて、医師と飯田下伊那透析施設連絡協議会の情報を共有し、専門医への紹介基準を提示した。これらの取り組みにより、腎臓内科への紹介が2例、シャント造設が2例あり、患者が透析の必要性を受け入れるまでの時間を確保しスムーズな透析導入に至った。

5) 今後の課題

コロナウイルス感染患者対応期間は、スタッフの勤務時間が延長するため、疲労の蓄積が懸念される。今後は、フレックス勤務の検討や変則勤務時の業務の見直しが必要である。

外来通院中の慢性腎不全患者に対しては、外来と透析室の情報共有を強化し、健康状態が維持できるように努め、透析導入になった際には、安心して透析導入できる環境を整える。その為には、他院との連携を深め、透析移行が円滑に進むよう多職種連携が重要な課題である。

一般病棟

1 業務状況

外科・整形外科・内科・耳鼻科の混合病棟で、一般病床と地域包括ケア病床の併設病棟である。急性期病院からの後方支援病院として回復期の患者に対するリハビリテーションや今後の療養先の選択をするための支援を担っている。また高齢者医療を中心とした慢性期疾患（心不全・糖尿病・慢性閉塞性肺疾患・脳血管疾患後遺症・骨粗鬆症・圧迫骨折・その他骨折後の後遺症）の薬物療法、栄養管理、嚥下訓練、リハビリテーションなど、または終末期患者に対する緩和ケアを行っている。外科や整形外科の手術患者の術前・術後の医療・看護も行っている。

高齢患者が多いため、入院初期から退院支援看護師、MSW と協同しケアマネージャーとの連携を図り、療養先の選択を検討し患者・家族支援を行っている。患者の意向、家族の意向をお聞きしながら、療養先を決定し、安心して在宅生活ができるように、訪問看護の導入や、退院前カンファレンスを実施した。また医療依存度が高く、在宅退院が困難な患者は介護医療院との連携も行っている。

今後も当該地域における地域包括ケアシステムの医療を担う病院としてさらに地域医療に貢献していく。

今年度は電子カルテを導入したため、マニュアルの整備を行った。

2 業務内容

今年度から病床数を 10 床減らし 56 稼働を開始した。一般病床 22 床、地域包括ケア病床 34 床で編成されている。

療養病棟

1 業務状況

医療療養は6床で運営している。令和6年度の病床利用は5床が目標であり、令和6年4月～6月と8月、令和7年2～3月は5～6床の利用であったが、令和6年7月と9月～令和7年1月は、3～4床の利用となり、年間平均病床利用率は72.3%であった。

在宅からの短期入院の方は、3名（12月に1名死亡）で、他院からの入院が1名と、介護医療院からの入院が1名であり、それ以外は一般病棟からの転棟であった。

令和6年9月24日より電子カルテが導入された。

2 業務内容

- ・検温、点滴、創傷・褥瘡処置、吸引、内服管理、麻薬の管理、経管栄養、気切カニューレ交換など、医師の指示のもとに行う医療行為と介助
- ・看護記録、介護記録、担当者会議への参加
- ・おむつ交換、排泄介助、陰部清拭、入浴介助、爪切り、髭剃り、口腔ケア等の身体ケア
- ・食事の準備、配膳、食事介助、下膳
- ・食堂や浴室、透析室への移送、車椅子・リクライニング、ストレッチャーへの移乗
- ・行事、レクリエーションの実施と参加への介助

3 病床の内容

(1) 入院患者の状況

- ・入院総人数：15名
- ・医療区分の内訳 医療区分2：13名 医療区分3：2名
- ・対象疾患等の状況
透析：6名 酸素療法（2L以下）：1名 酸素療法（3L以上）：2名
頸椎損傷：1名 パーキンソン病：3名 筋萎縮性側索硬化症：1名
気管切開：1名

(2) 業務体制

- 1) 看護師、介護員（介護福祉士・看護補助者）によるプライマリー+機能別
- 2) 夜勤は、看護師1名と介護員1名の2名で対応

3) プライマリーは、看護師、介護員各1名で受け持ち、看護計画やサマリー作成、日常生活支援、家族との関わりを行っている。

受け持ちは、交代することなく、退院して次に入院しても受け持ちは変わらないことで、継続した患者本人や家族との関係性を構築している。

医療技術部門

臨床検査課

1 業務内容

(1) 検体検査および生理学検査

ア. 検体検査

一般検査、生化学検査1、生化学検査2、免疫学検査、微生物学検査
(微生物学検査の多くと病理学検査は外注)

イ. 生理学検査

心電図(負荷を含む)、呼吸機能(呼気ガス分析を含む)、脳波、脈波、
超音波検査(心エコーを除く)

2 業務統計

(1) 令和6年度の検査件数(注:人数ではなくテスト数)

項目名称	全体件数	外来件数	入院件数	健診件数
一般検査	19779	6314	445	13012
血液学検査	26732	14817	3293	8602
生化学検査1	231770	125518	24570	81541
生化学検査2	7443	2919	488	4008
免疫学検査	17486	10366	2205	4901
微生物学検査	62	35	27	0
輸血関連検査	70	27	43	0

3 その他

(1) 人員

12月末で健診部勤務の常勤技師1名が退職。超音波検査をこちらで引き継ぐ

(2) 機器

11月末に便潜血、血球計数および血液凝固検査の分析装置を更新

リハビリテーション技術課

1 部門紹介

当課は、理学療法士と作業療法士により、身体機能・生活動作の改善と体力維持・向上を目的としたリハビリテーションを行っている。課の方針として、地域包括ケアシステムにおけるリハ職の役割である「急性期・回復期・生活期での切れ目のないリハビリテーションの提供とその質の向上を図ること」を掲げ、医療保険での入院・外来患者の他、介護保険サービスとして通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、また付帯施設である介護医療院の入所者に対するリハビリテーションを実施している。

【スタッフ数】 理学療法士 4名 ・ 作業療法士 3名 ・ 介助員(助手) 1名

2 業務内容

(1) 医療保険下でのリハビリテーション

ア 入院(一般病棟・医療療養病床)・外来 : 疾患別リハビリテーション料 施設基準

脳血管疾患リハ(Ⅱ)・廃用症候群リハ(Ⅱ)・運動器リハ(Ⅰ)・呼吸器リハ(Ⅰ)

イ 地域包括ケア病床入院 : 疾患別リハビリ(個別)・補完代替リハビリ(POC)

(2) 介護保険下でのリハビリテーション

ア 介護医療院 入所・短期入所 : 特定診療費 (作業療法・理学療法)

イ 通所リハビリテーション: 介護(要介護)・予防(要支援) ※ 平日午前、送迎あり

ウ 訪問リハビリテーション(医療保険も含む): 病院・訪問看護ステーション

(3) チーム医療への参加 : 摂食嚥下委員会・褥瘡対策委員会・排泄ケアチーム

3 業務統計

(1) 医療保険下でのリハビリテーション 令和6年度実施件数(延べ人数・総単位数)

合計			脳血管	廃用	運動器	呼吸器	摂食	包括
入 院	人数	4,599	278	331	487	41	/	3,462
	単位	11,214	441	537	1,658	84		8,494
外 来	人数	439	156	0	273	0		10
	単位	936	357	0	569	0		10

※ 摂食=摂食機能療法 リハビリ課では外来のみ算定

(2) 介護保険下でのリハビリテーション 令和6年度実施件数(延べ回数・利用人数)

介護医療院 作業/理学療 法		通所リハビリテーション		訪問リハビリテーション	
入所	1,381回 233人	利用延べ人数 1,161人		病院	946回 142人
短期	150回 38人	介護 709人 予防 452人		訪看	訪問延べ人数 97人

※ 訪看=訪問看護ステーションからの訪問リハビリ 医療・介護の両方あり

放射線技術課

1 部門紹介

(1) 放射線技術課では「いつでも快く患者さんの検査を受け入れる姿勢を持ち続けます」を部署目標とし放射線検査業務に従事している。

一般撮影装置、骨密度測定装置、CT装置、X線TV装置、マンモグラフィ装置、ポータブル撮影装置、外科用イメージ装置、眼底撮影装置を用いて各種検査

を行い、適正な線量を選択し、各医師の診断に適した画像を提供する事を行っている。

2 業務内容と近年の動向

(1) 外来・入院患者の検査

ア 一般・CT など各装置を用いて全身の撮影検査を行っている。また、9月にX線TV

装置の更新に伴い、透視・撮影以外の機能として断層撮影（トモシンセシス）が可能となり、今後の有効活用に繋げていきたい。

(2) 健康診断による検査

ア 健診センターからの健診業務の撮影検査を行っている。今年度、検診マンモグラフィ撮影認定技師の取得をし、今後は施設・画像認定の取得に向けて取り組んでいく。

(3) 放射線被ばく線量管理・放射線被ばく相談

ア 管理区域内に立ち入る職員の被ばく線量管理や各装置の適正な線量管理と漏洩線量測定を行っている。また院内・院外から寄せられた放射線被ばく相談の対応を行っている。

3 業務統計

(単位：件)

	撮影患者数	入院	外来	一般撮影	眼底	DXA	マンモグラフィ	CT	透視(TV・イメージ)	ポータブル
令和5年度	11754	1045	10709	8742	2167	403	1235	2784	435	93
令和6年度	11434	1256	10178	8910	2369	403	1323	2789	447	137

*放射線被ばく相談対応件数

	電話相談	メール相談
令和5年度	7件	6件
令和6年度	11件	4件

4 スタッフ紹介

課長：武田貞弘 主任：下平和紀 パート：河野典子

<認定資格>

胃がん検診専門認定技師・胃 X 線読影補助認定技師・放射線管理士・放射線被ばく
相談員・検診マンモグラフィ撮影認定技師

栄養課

1 業務内容

- (1) 衛生管理業務
保健所適時調査
厨房内改修工事
- (2) 栄養指導業務
- (3) 栄養管理業務
GLIM 基準導入
- (4) 給食管理業務
行事食実施 1 回/月
厚生局適時調査
社会福祉施設等一般指導監査

2 加算状況

- (1) 特別食加算
- (2) 栄養指導加算
- (3) 栄養マネジメント強化加算

3 業務統計

- (1) 1 日平均給食数

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
174	153	152	175	164	176	158	145	174	177	202	192	170

(2) 栄養指導実績

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
糖尿病	26	18	15	15	8	4	24	26	17	17	16	18	17
心疾患			1										1
消化管疾患	1	3		1	1					1			1
腎臓疾患	6	3		4	2	1		4	4	2	1	3	3
肥満症・脂質異常		1	5		3	2		1	2			2	2
小児	3		1	5	4								3
その他				1	1			1	3		5	1	2
合計	36	25	22	26	19	7	24	32	26	20	22	24	30

臨床工学技術課

1 業務内容

(1) 血液浄化業務

ア 当院の透析は外来、入院患者の導入期から終末期まで対応しており、17床1クールで行っております。治療方法はHD、On-lineHDFの2種類が選択出来ます。技士は透析機器の管理・操作、水質管理、シャントエコーなどを行っております。

(2) 呼吸器管理業務

ア 当院に入院中の方で呼吸器を装着されている方のラウンドを毎日行っております。

また、呼吸器を導入する際の補助を行っております。

(3) 医療機器管理業務

ア 当課で管理を行っている医療機器は透析機器、輸液・シリンジポンプ、呼吸器、麻酔器、除細動器、AED、電気メスなど多岐にわたり現在管理数を増やしております。

2 業務統計

(1) 呼吸器稼働台数 (2024年4月1日～2025年3月31日)

MonalT60 (IPPV) : 2台、AIRVO2 (ネーザルハイフロー) : 5台

(2) 勉強会開催数 (2024年4月1日～2025年3月31日)

麻酔器関連：2回、シリンジポンプ：1回

(3) シャントエコー件数 (2024年4月1日～2025年3月31日)

令和6年度シャントエコー件数：68件

3 取得資格

透析技術認定士：3名

第2種ME技術実力検定：3名

呼吸療法認定士：1名

体外循環技術認定士：1名

認定血液浄化臨床工学技士：1名

医療社会事業部門

地域連携課

1 業務内容

(1) 地域連携

ア 紹介患者の受け入れ、予約及び連絡業務調整（前方連携）に関すること

イ 関係行政機関との連絡調整に関すること

ウ 他医療機関や他施設との病診連携に関すること

エ 院内他部署との連携や調整に関すること

オ 地域連携パス（大腿骨頸部骨折・脳卒中・乳がん）に関すること

(2) 退院支援

ア 退院準備、在宅療養、施設入所、転院（後方連携）に関すること

イ 社会保障、社会福祉制度に関する相談

ウ 虐待等に関する相談

2 業務統計

(1) 業務実績（令和6年度）

ア 紹介率：10.9% 逆紹介率：10.3%

イ 相談援助調整内容別件数

(単位：件)

相談内容	件数
受診・受療	175
経済的問題	52
制度活用	140
入院療養生活	339
退院支援	448
在宅療養・介護	194
医療者との関係	11
家族関係	100
日常生活	53
就労・就学	7
身元保証・権利擁護	3
死後対応	7
その他	11
合計	1540

(単位：件)

援助方法		件数	
面談	本人	472	
	家族	359	
	知人・友人	8	
電話	本人	2	
	家族	400	
	知人・友人	4	
訪問	家庭	6	
	その他	3	
同行・同伴・代行		287	
連絡調整	院内		288
	院外	面会	59
		電話	1446
		文書他	1
カンファレンス	(院内職種のみ)	0	
	(院外職種含む)	101	
合同カンファレンス	(院内職種のみ)	0	
	(院外職種含む)	105	
合計		3541	

付帯施設

訪問看護ステーション

1 業務内容

- ・在宅療養者の療養上の世話（医療保険・介護保険・自治支援・生活保護等による）
- ・訪問診療、往診の補助
- ・医療相談・介護相談・指導
- ・病棟看護師と共に退院支援・退院指導
- ・退院時ケアカンファレンスの実施
- ・担当者会議への参加

2 業務実績

(1) 業務内容

ア 実習受入

- ・長野県看護大学3、4年生 実習受け入れ 延べ10人

- ・飯田短期大学 3年生実習受け入れ 延べ5人
- ・長野県看護協会新人訪問看護師研修 実習受け入れ 1名

イ 会議への参加

- ・訪問看護連絡協議会 3回
- ・飯伊重度心身障害者の会 4回

ウ 論文協力

- ・長野県看護大学 研究論文作成の協力 3回

エ 講師

- ・飯田短期大学災害看護 講義の講師 2回

(2) 実績

ア 利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護保険	93	84	83	81	82	80	82	84	84	78	74	79	984
医療保険	13	11	10	10	10	13	12	11	9	9	13	11	132
合計	106	95	93	91	92	93	94	95	93	87	87	90	1116

イ 訪問回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護保険	399	299	262	303	291	258	287	286	301	258	226	261	3431
医療保険	40	29	25	27	33	44	76	36	23	26	40	37	436
合計	439	328	287	330	324	302	363	322	324	284	266	298	3867

ウ 訪問看護 在宅看取り数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
看取り数	2	0	0	2	1	1	2	2	0	2	2	0	14

居宅介護支援事業所

1 職員配置

主任ケアマネージャー（管理者・介護福祉士）1名

ケアマネージャー（看護師）1名

2 業務内容

介護保険で要介護認定されたご本人及びご家族の依頼によりご利用者の心身の状態及びご家族の状況に応じてご利用者の希望に基づき適切なサービスが総合的に提供できるよう居宅サービス計画書を作成する。また介護がスムーズに行えるようにサービス実施機関等との連絡調整を行う。

3 業務実績

(1) 令和6年度利用者数

要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
25	247	230	128	75	30	735

事務部門

総務課

1 業務内容

- (1) 職員の人事、給与その他労務管理に関する事。
- (2) 職員の服務、研修及び福利厚生に関する事。
- (3) 職員の賞罰に関する事。
- (4) 職員の出張に関する事。
- (5) 儀式及び忌慰に関する事。
- (6) 内規等の制定及び改廃に関する事。
- (7) 文書の管理に関する事。
- (8) 業務の総合企画及び連絡調整に関する事。
- (9) 情報の総括的管理及び情報開示に関する事。
- (10) 宿直及び日直に関する事。
- (11) 重要事項の記録に関する事。
- (12) 会議及び集会に関する事。
- (13) 諸報告及び諸届に関する事。
- (14) 一般文書公印の管理に関する事。
- (15) 車両の管理（救急車の管理含む）運行に関する事。

- (16) 霊安室の管理に関する事。
- (17) 構内取締りに関する事。
- (18) 損害保険制度等の処理に関する事。
- (19) 災害時等における医療援助の計画及び実施に関する事。
- (20) その他、他課に属さない事。

2 今年度の取り組み

- (1) 会議形態の見直しと会議資料のペーパーレス化
- (2) 補助金の申請（長野県看護職員確保対策事業、長野県地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）、松川町公的病院医療確保対策補助金、松川町商工業人材育成事業）
- (3) 講習会等参加（安全運転管理者講習、刈払機取扱作業安全衛生教育講習）
- (4) 創立 75 周年ロゴマークの作成
- (5) 業務の効率化“チリ積”プロジェクト
- (6) 主任制の導入
- (7) 職場体験・インターンシップの受入れ
 - ・しごと未来フェア（松川中学校・大鹿中学校 2 学年）
 - ・高校生対象医療職体験会（看護師 2 名、薬剤師 2 名、理学療法士 2 名、作業療法士 2 名、診療放射線技師 2 名、臨床検査技師 2 名）
 - ・中学生職場体験（飯田東中学校 1 名、高陵中学校 2 名、大鹿中学校 1 名、旭ヶ丘中学校 1 名、緑ヶ丘中学校 2 名）
 - ・インターンシップ（飯田 OIDE 長姫高等学校商業科 2 名、飯田短期大学看護学科 1 名、諏訪赤十字看護専門学校 1 名、東海学園大学健康栄養学部 1 名）

会計課

1 業務内容

- (1) 経理に関する事。
- (2) 設備に関する事。
- (3) 補助金及び交付金に関する事。

2 今年度の取り組み

(1) 機器整備

- ア 令和6年7月 栄養課 食器洗浄機一式
- イ 令和6年8月 放射線技術課 デジタルX線テレビシステム（日本損害保険協会補助金）
- ウ 令和6年9月 医療情報システム更新
- エ 令和6年12月 外来 電気メス（中古）
- オ 令和7年2月 一般病棟 簡易陰圧装置・PCR検査機器 医療施設等整備補助金（新興感染症対応力強化事業（協定締結医療機関整備事業））
- カ 令和7年2月 臨床工学技術課 シリンジポンプ、輸液ポンプ（本社共同購入）
- キ 令和7年3月 栄養課 食器消毒保管機・二槽シンク
- ク 令和7年3月 透析室 電動ベッド更新
- ケ 令和7年3月 救急車管理替え（引佐赤十字病院より）

(2) 修繕工事

- ア 令和6年6月 栄養課 改修工事
- イ 令和6年6月 介護医療院食堂 アウトレットバルブ増設・移設
- ウ 令和6年9月 臨床工学技術課 閉鎖循環式麻酔器の気化器交換（手術室）
- エ 令和6年11月 一般病棟 病室名変更に伴う掲示板修正・ナースコール病室名変更
- オ 令和7年2月 検査課 検査採取室改修
- カ 令和7年3月 屋上高架水槽置跡地 防水補修工事

(3) その他

- ア 令和7年4月～ 職員ユニフォーム新規契約
（安曇野赤十字病院・飯山赤十字病院との共同購入）

医事課

1 業務内容

- (1) 初診、再診患者の受付
- (2) 入院及び外来患者の料金算定

- (3) 社保、国保等の保険請求業務
- (4) 自賠責、生活保護等の保険請求業務
- (5) 介護保険の保険請求業務
- (6) 医事統計作成
- (7) D P C データ作成 (データ提出加算)
- (8) 施設基準の届出
- (9) 各種文書受付業務
- (10) 電子カルテシステム管理

2 今年度の取り組み

(1) 施設基準届出

ア. 医療新規届出 () は算定開始月

- (ア) 後発医薬品使用体制加算 1 (4月)
- (イ) 外来・在宅ベースアップ評価料 (6月)
- (ウ) 入院ベースアップ評価料 (6月)
- (エ) 医療D X 推進体制整備加算 (10月)
- (オ) 入退院支援加算 2 (10月)

イ. 医療辞退届 () は算定を取りやめた月

- (ア) HPV 核散検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノアタイプ判定) (6月)
- (イ) 入退院支援加算 1 (9月)
- (ウ) 療養環境加算 (9月)

ウ. 介護新規届出 () は算定開始月

- (ア) 排泄支援加算 I (4月)
- (イ) 自立支援促進加算 (4月)
- (ウ) 高齢者施設等感染対策向上加算 I、II (4月)
- (エ) 生産性向上推進体制加算 I (4月)
- (オ) 口腔連携強化加算 (4月)
- (カ) 介護職員等処遇改善加算IV (6月)

(2) 研修等への参加

ア. 飯伊地区病院連絡会 (2月18日 1名)

イ. 飯田市立病院主催講演会 (3月21日 4名)

1 業務状況

介護医療院は34床で、令和6年度は病床利用32床を目標としていた。32床以上の利用は年間通して25日間と、目標には大きく届かなかった。4月～10月・1月～3月は27～32床の利用であり、2月は30～33床の利用と利用率も高かったが、11月が22～25床の利用が19日間であった。年間の平均病床利用率は83.1%であった。

長期入所・短期入所ともに、在宅からの入所は26名で、他施設からの入所は1名、一般病棟からの入所は56名であった。

令和6年9月から電子カルテが導入され、日常の記録については「MIRAIs」で行い、施設サービス計画やLIFEに関連する評価表等は「寿」を使用している。

令和6年12月～令和7年1月にかけて、インフルエンザ感染症のクラスターがあり、利用者7名と職員2名が感染したが、19日間で終息した。令和7年3月にはヒトメタウイルス感染によるクラスターがあり、利用者7名が感染し、一般病棟に入院となる方もいた。

2 業務内容

- ・検温、点滴、創傷・褥瘡処置、吸引、内服管理、麻薬の管理、バルン交換、経管栄養など、医師の指示のもとに行う医療行為と介助
- ・看護記録、介護記録、施設サービス計画書作成・モニタリング、担当者会議への参加
- ・おむつ交換、排泄介助、陰部清拭、入浴介助、爪切り、髭剃り、口腔ケア等の身体ケア
- ・食事の準備、配膳、食事介助、下膳
- ・食堂や浴室、透析室への移送、車椅子・リクライニング、ストレッチャーへの移乗
- ・行事、レクリエーションの実施と参加への介助

3 病床の内容

(1) 入所者の状況

- ・入所者総人数83名（うち30名死亡）

・介護度別内訳

区分変更中：2名 要介護1：1名 要介護2：6名 要介護3：12名
要介護4：28名 要介護5：34名

・対象者の内容

点滴、バルン留置、吸引、酸素療法、ターミナル・看取り、嚥下困難で食事介助、インスリン、透析、認知症、経管栄養、麻薬使用、特養の待機、リハビリ等

(2) 業務体制

- 1) 看護師、介護員（介護福祉士・看護補助者）によるプライマリー+機能別
- 2) 夜勤は、看護師1名と介護員1名の2名で対応
- 3) プライマリーは、看護師、介護員、ケアマネ各1名で受け持ち、施設サービス計画立案やモニタリング、居宅ケアマネや訪問看護へのサマリー作成、担当者会議への参加、日常生活支援、家族との関わりを行っている。

受け持ちは、交代することなく、退院して次に入院しても受け持ちは変わらないことで、継続した患者本人や家族との関係性を構築している。

(3) 年間行事レクリエーションの実績（介護医療院：医療療養+介護医療院）

日付	プログラム	利用者参加人数
4月3日	お花見	介護医療院28名 一般病棟10名
6月	ひなたぼっこ（春号）発行	
7月31日	夏祭り	介護医療院31名 一般病棟6名 家族8名
8月	ひなたぼっこ（夏号）発行	
9月30日	敬老メッセージカード	入所者全員
10月9日	ミニ運動会	介護医療院24名 家族4名
11月	ひなたぼっこ（秋号）発行	
12月18日	クリスマス会	介護医療院22名 一般病棟11名 家族7名
1月1日	お正月「年賀状」	入所者全員
1月	ひなたぼっこ（冬号）発行	

- ・お花見：春の花を持つての記念撮影をし、記念カードを作成。居室に飾ることで家族にも様子を知ってもらうことができた。

- ・夏祭り：家族にも参加して頂き、入所者との関わりを持つことができ笑顔が見られた。
- ・敬老会：事前に撮影した写真をカードにしてお渡しした。撮影時には、男性はカラーワイシャツ＋ネクタイ、女性にはブラウス＋スカーフなど、ご自分で選びおしゃれを楽しんだ。
- ・ミニ運動会：紅白に分かれチーム・個人プレー・応援を楽しんだ。
- ・クリスマス会：家族の参加もあり、楽しい時間の共有となった。入所者へのプレゼントのリースは職員が揚力して作成した。
- ・年賀状：ご家族に年賀状をお渡しして、送ってもらった。日頃手紙等の「やり取りのない入所者が多いため喜んでいる方も多かった。
- ・今年度は、ご家族が参加する機会を持つことができた。居室で寝ているだけでなく、レクリエーションに参加している様子を見てもらい、家族と触れ合う機会を持つことができた。

学术実績

学術発表・講演・教育・論文・著書（共著含む）

（１）学術発表・講演・教育等

氏名	講演	会場・日程
白子 隆志	発表 第 124 回日本外科学会学術集会 有事における「戦傷外科」教育の伝承	愛知県常滑市 令和 6 年 4 月 18 日
白子 隆志	座長 第 38 回日本外傷学会総会 ガザでの医療支援に見る近代市街地における紛争被災者診療	大阪市 令和 6 年 4 月 25 日
白子 隆志	発表 第 27 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 シンポジウム I 紛争と医療	鹿児島市 令和 6 年 7 月 18 日
白子 隆志	講師 岐阜県防災士養成講座	土岐市 令和 6 年 11 月 9 日
白子 隆志	講師 岐阜県防災士養成講座	可児市 令和 6 年 11 月 24 日
白子 隆志	講師 岐阜県災害コーディネーター研修会 ACT 研究所	各務原市（岐阜県保健所） 令和 6 年 11 月 30 日
白子 隆志	講師 第 4 回地域中学病院との救急医学研修（集中講義）	飯田広域消防高森消防署 令和 7 年 1 月 29 日
白子 隆志 矢部 茂美	講師 令和 6 年度第 3 ブロック赤十字救護班研修会	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 令和 7 年 2 月 8 日・9 日
白子 隆志	座長 第 30 回日本災害医学総会・学術集会記念大会	名古屋市 令和 7 年 3 月 7 日
白子 隆志	講師 岐阜県防災士養成講座	飛騨市 令和 7 年 3 月 9 日
松下 美幸	講師	中川村（野の花託老所）

	<p>長野県補助事業キャリア形成訪問指導事業</p> <p>施設における感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の基本 ・PPE 着脱訓練 	<p>NPO 法人おおぞら)</p> <p>令和6年9月17日</p>
松下 美幸	<p>講師</p> <p>長野県補助事業キャリア形成訪問指導事業</p> <p>施設における感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時の初期対応シミュレーション ・PPE 着脱訓練 ・透析通院の方の感染症発生時の連携等 	<p>高森町（宅幼老所ビスケットやまぶき亭）</p> <p>令和6年10月18日</p>
森上 幸恵	<p>発表</p> <p>第20回長野県褥瘡懇話会</p> <p>関節リウマチ患者の難治性下腿潰瘍に対してプロントザンと局所陰圧閉鎖療法の併用により改善がみられた一例</p>	<p>飯田市（エス・バード）</p> <p>令和6年11月2日</p>
松下 美幸	<p>講師</p> <p>長野県補助事業キャリア形成訪問指導事業</p> <p>施設における感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の基本 ・有事の感染対策（感染症発生時・自然災害時） 	<p>中川村（デイサービスセンターいわゆり荘 中川村社会福祉協議会）</p> <p>令和6年年11月6日</p>
松下 美幸	<p>講師</p> <p>長野県看護協会出前講座</p> <p>施設における感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の基本 ・有事の感染対策（感染症発生時・自然災害時） 	<p>松川町（コーポヘルメス社会福祉法人親愛の里）</p> <p>令和6年12月16日</p>
瓜尾 昌恵	<p>講師</p> <p>長野県看護大学</p> <p>地域・在宅看護学(2年生)</p>	<p>駒ヶ根市</p> <p>令和6年12月13日</p>

	在宅ケア方法Ⅰ 講義 「在宅リハビリテーションの目標と援助の実際」	
下平 和紀	講師 文部科学省委託事業 放射線に関する出前授業 「クルックス管実験」	金沢大学附属中学校 令和6年12月12日
山下 圭一	講演 赤十字奉仕団北部ブロック役員研修会 講義 「能登半島地震発災一か月後の災害救援活動報告」	松川町 令和6年6月27日
山下 圭一	講演 長野県看護管理者会南信地区会 研修会 講義 「令和6年能登半島地震救護活動の実際」	下伊那赤十字病院 令和6年年11月8日
山下 圭一	講演 箕輪町北小河内区自主防災会 講義 「災害支援活動報告及び災害に対する日常的な備えについて」	箕輪町 令和6年11月30日
下平 和紀	講演 長野県診療放射線技師会 南信支部研修会 「放射線被ばく相談対応事例から学ぶ～相談者が我々に求めているもの～」	伊那中央病院 令和6年9月28日
矢部 茂美	講師 令和6年度長野県支部医療救護班研修	日本赤十字社長野県支部 令和6年6月15日
矢部 茂美	講師 総合看護Ⅲ 災害看護	岡谷市看護専門学校 令和6年6月21日・27日・7月19日・22日
矢部 茂美	講師 長野県 DMAT 養成研修（タスクフォース）	長野県健康福祉部医療政策課 令和6年6月22日

牧内 明美 伊藤 友里香	講師 こころのケア研修	日本赤十字社長野県支部 令和6年6月28日
熊谷 好志子	講師 性教育出前授業	松川中学校 令和6年7月12日
矢部 茂美	講師 救護員としての赤十字看護師研修	日本赤十字社長野県支部 令和6年8月5日・20日・21日
田口 志保	講師 性教育出前授業	高森中学校 令和6年8月29日
田口 志保	講師 令和6年度再就職支援研修会「BLSとAED」	長野県看護協会 令和6年9月26日
小林 学	講師 令和6年度再就職支援研修会「採血」	長野県看護協会 令和6年10月3日
矢部 茂美	講師 令和6年度長野県総合防災訓練 コントローラー	長野県・小諸市 令和6年10月20日
矢部 茂美	講師 令和6年度国民保護実動訓練 コントローラー	消防庁・長野県・飯田市 令和6年11月7日
曾根 愛子 矢部 茂美	講師 救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修	日本赤十字社長野県支部 令和6年12月6日・7日
矢部 茂美	講師 令和6年度長野県地域災害医療コーディネート研修 ファシリテーター	長野県健康福祉部 令和6年12月9日
熊谷 好志子	講師 性教育出前授業	松川中学校 令和7年2月17日

(2) 第60回日本赤十字社医学会総会 発表

氏名	講演	会場・日程
山下 圭一 三ツ井 遥希 伊藤 友里香	摂食嚥下障害専門入院開設への取り組み ※優秀演題 表彰 受賞	仙台国際センター 10月17日・18日

宮下 智子 横田 陽一 細田 昌良		
古島 俊哉 白子 隆志 笠原 俊彦 牧内 明美	地域の医療・介護・健康増進への取 り組みー「地域づくり」への参画ー	

(3) 出前講座 講師派遣

月日	講師	テーマ	依頼団体
5月28日	松下 美幸	新型コロナウイルス5類移行から1年、 現在の医療福祉現場の対策について	特養 松川荘
6月14日	瓜尾 昌恵	ロコモティブシンドロームについての講 話と椅子に座ってできる体操	松川町社協 いちごサロン
6月27日	山下 圭一	能登半島地震発災1カ月後の災害救護活 動について	飯伊日赤奉仕団
7月17日	沢田 泉	認知症について(事例をとおして)	高森町社協
9月19日	森上 幸恵	褥瘡をつくらないためのポジショニング について	特養 松川荘
9月29日	有賀 和弘 武田 貞弘	救急法 AED 講習会	松川少年少女ス ポーツクラブ連 盟
11月14日 ・15日	沢田 泉	一般介護予防事業 フレイル予防教室・認知症の話	飯島町役場
12月19日	松下 美幸	感染症対策等について	コスモス松川
1月30日	松下 美幸	職員への感染症対策研修	社会福祉法人 親愛の里
1月30 日・31日	森上 幸恵	一般介護予防事業 フレイル予防教室・皮膚排泄の話	飯島町役場

(4) 生活支援・幼児安全・救急講習会

講習会内容	開催日	依頼団体	会場	担当
救急短期	5月15日	松川高校	松川高校	有賀 和広 丸山 大介

救急短期	5月26日	日本赤十字社 長野県支部	下伊那赤十字病院 防災センター	武田 貞弘 丸山 大介
救急養成	6月1日	日本赤十字社 長野県支部	下伊那赤十字病院 防災センター	有賀 和広 武田 貞弘 伊藤 俊士
救急養成	6月2日	日本赤十字社 長野県支部	下伊那赤十字病院 防災センター	有賀 和広 曾根 愛子 丸山 大介
救急短期	6月28日	飯田労働基準協会	労基協会会館	有賀 和広 武田 貞弘 伊藤 俊士
救急短期	8月8日	飯田養護学校	飯田養護学校体育館	武田 貞弘 丸山 大介

(5) コミュニティ・カフェ (松川町)

日時	内容	職種・担当
4月19日・26日	腎臓について	看護師・荒井 美和子
5月22日・24日	体力測定	看護師・田口 志保
6月14日・21日	体力測定 結果	看護師・田口 志保
7月12日・19日	能登災害支援を通して伝えたいこと	作業療法士・山下 圭一
8月28日・30日	認知症と予防	看護師・沢田 泉
9月27日	災害に備えて	看護師・細江 久子
10月16日・18日	転びにくい身体づくり	理学療法士・瓜尾 昌恵
11月13日・15日	オレンジチームの活動	看護師・黒川 優子
12月18日・20日	感染予防	看護師・松下 美幸
1月17日・24日	災害の豆知識	看護師・曾根 愛子
2月12日・19日	尿漏れケアについて	看護師・森上 幸恵
3月12日・14日	フレイル予防 いつまでも口からおいしく食べるために	看護師・細江 久子 看護師・沢田 泉

(6) 糖尿病重症化予防教室 (松川町)

開催日	内容	職種・講師	
第1回	糖尿病の治療について	医師・	日本糖尿病学会会員

2月12日		栗原 章浩	
第2回 2月19日	糖尿病の服薬、注射について	薬剤師・ 牧内 宏明	糖尿病療養指導士
	糖尿病の食事、栄養について	管理栄養士・ 青島 貴子	糖尿病療養指導士
第3回 2月26日	糖尿病の運動について	理学療法士・ 瓜尾 昌恵	糖尿病療養指導士

(7) 論文・著書 (共著を含む)

氏名	論文名	掲載
白子 隆志	赤十字と紛争地医療 (戦傷外科)	日本臨床救急医学会誌 (JJSEM) 2025 ; 28 : 48-55
藤本 武利	How Can We Identify T1 or Shallow T2 Gallbladder Carcinoma Using Ultrasound? Comment on Okaniwa S. How Can We Manage Gallbladder Lesions by Transabdominal Ultrasound? <i>Diagnostics</i> 2021, 11, 784.	January 11, 2024. <i>Diagnostics</i> 2024, 14, 164.
藤本 武利	Letter to the Editor: Early Sonographic Detection of Gallbladder Carcinoma Can Improve Patient Outcomes: A Case Report – by Kimbrow. How is T1 or shallow T2 Gallbladder Carcinoma Depicted with Sonography?	<i>J Diagn Med Sonogr.</i> First published Apr 11, 2024.
藤本 武利	A deep unenhanced area on contrast-enhanced ultrasound suggests T2 gallbladder carcinoma.	<i>J Clin Ultrasound</i> 2024 ; 1-3. First published: August 26, 2024.

災害救護

1. 令和6年度救護班登録及び救護班編成表

令和6年7月17日改正

下伊那赤十字病院

1. 災害対策本部要員の内、災害救護業務を直接担当するもの

職名	氏名
病院長	白子 隆志
事務部長	笠原 俊彦
看護部長	牧内 明美
救護担当	古島 俊哉
救護担当	片桐 美帆

2-1. 救護班編成表

1班		2班	
職名	氏名	職名	氏名
班長	岩波 利和	班長	細田 昌良
看護師長	曾根 愛子	看護師長	眞島 裕美子
看護師	吉田 沙織	看護師	荒井 美和子
〃	村上 智恵子	〃	原 由美子
主事1	下平 和紀	主事1	米山 大地
主事2	荒井 真次	主事2	丸山 大介

2-2. 予備救護班員

職名	氏名	職名	氏名
医師	森下 浩	主事	村澤 俊幸
		〃	唐澤 和義
薬剤師	熊谷 幸雄・松崎 淳	〃	山下 圭一
看護師長	田口 志保	〃	眞島 元洋
看護師	熊谷 好志子	〃	上沼 大祐
看護師	伊藤 由紀		

2-3. 日本赤十字社長野県支部日赤災害医療コーディネートチーム

災害医療コーディネーター 医師 白子 隆志（任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日）

コーディネートスタッフ 看護師 矢部 茂美（任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日）

2 救護班活動実績

開催日	活動	主な議題
令和6年6月15日(土)	研修	長野県支部医療救護班研修(救護班一班)
令和6年9月29日(日)	訓練	長野県支部合同災害救護訓練 会場:飯山市 ※能登半島大雨災害への対応のため中止

3 資機材の調達等

新規/更新		内容
新規	長野県支部	空調服(クールファンベスト)10着
新規	長野県支部	ポータブル蓄電池1台 付属品)ソーラーパネル、充電ケーブルセット
新規	購入	職員用非常食105食分

令和6年度 下伊那赤十字病院 年報

発行者 下伊那赤十字病院 院長 白子 隆志

〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島 3159-1

編 集 総務課